I·O DATA

FTS-NASシリーズ

取扱説明書

B-MANU-200032-01

もくじ

必ずお守りください……2
使用上の注意……6

使う前に……9
箱の中を確認する……10
動作環境を確認する……11
各部の名称と機能……12
設置条件……15

起動と終了……17
ネットワークに接続する……18
起動する……19
停止する……21
IPアドレスを設定する……23

運用する……25
運用上の注意……26
アクセスする……27
アクセス権の設定をする……29
運用状況の監視……34
ハードディスクの交換……36
バックアップ……38
全文検索機能……42
ウィルススキャン……47

液晶メニューについて……51
操作方法……52
メニューの起動方法……53
Status(ステータス)について……54
Setup(セットアップ)について……54
System(システム)について……55

詳細設定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

初期画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

電源コードを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。

禁止

給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。

給電されているケーブルを接続すると、発煙したり、火災の原因となります。

⚠ 警告

厳守

電源ケーブルについては以下にご注意ください。
●必ず添付または指定の電源ケーブルを使用してください。
●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源ケーブルを AC コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手で AC コンセントに接続したり、抜いたりしないでください。
感電の原因となります。
●電源ケーブルが AC コンセントに接続されているときには濡れた手で本機に触らないでください。
感電の原因となります。
●本機を長時間使わない場合は、電源ケーブルを電源から抜いてください。
電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

水ぬれ禁止

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
お風呂場、降雨降雪中の屋外、海岸、水辺などでの使用は火災・感電・故障の原因となります。

禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。また、絶対に通電をしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止

本製品を病院内で使用しないでください。
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

禁止

本製品を飛行機の中で使用しないでください。
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

⚠ 注意

本製品を使用中に、データが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障などに備えて定期的にバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所 ●本製品通風孔をふさぐような場所（保管は問題ありません）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

パソコンから本製品にアクセス中にパソコンや本製品の電源を切ったり、リセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品の電源をOFFにした後、再度電源をONにする場合は、5秒以上待ってください。

瞬時に電源をONにすると、正常に本製品がリセットされない場合があります。

使用上の注意

本製品を使用する上で守っていただきたいご注意です。必ずお読みください。

全般の注意

■本製品で使用しているソフトウェアのライセンスや注意事項について、【使用しているソフトウェアについて】（123ページ）をお読みください。アドオンされているソフトウェアの利用には、ライセンスへの同意が必要です。

■動作中に本製品やバックアップ用ハードディスクの電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

■はじめてバックアップ用ハードディスクを本製品に接続して使用する場合は、自動的にフォーマットされます。
※本製品で使用するバックアップ用ハードディスクは、本製品用にフォーマットする必要があります。本製品で使用するハードディスクのファイルシステムと、Windows で使用するファイルシステムが異なるため、すでに使用しているハードディスクをそのまま使用することはできません。フォーマットをするとすべてのデータが削除されますのでご注意ください。

■ファイルコピー中に本製品やバックアップ用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。
本製品やバックアップ用ハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。

■本製品をDHCPサーバが存在するネットワークに接続しても、正常にIPアドレスを取得できない場合があります。その場合は、本製品のIPアドレスを固定に設定してご利用ください。

■本製品背面のUSBポートには、【動作環境を確認する】内【本製品のUSBポートにつながる機器】（11ページ）以外の機器は接続しないでください。（USBハブも接続できません。）

■USB機器を接続した状態で本製品を起動しないでください。

本製品の設定時の注意

■本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。

■本製品に登録可能なユーザ数は 5000 ユーザ、グループ数は最大 1000 個までとなります。

■Webブラウザで表示されるハードディスク使用領域とWindowsからドライブ割り当てしてプロパティから見た使用領域の値が大きく異なります。
これは本製品で使用するファームウェアの仕様でハードディスク側に問題はありません。

■ハードディスクの簡易チェックに要する時間は、本製品とハードディスクの状態により大きく異なります。
通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数十分程度の時間を要することがあります。

■ユーザー名とグループ名には数字のみの名称は設定できません。

■共有名にはスペースは使用できません。

■ブラウザから設定する、共有、グループ名、ユーザ名(小文字のみ)、パスワードはすべて、半角英数字(ASCII文字)のみが有効となります。

■本製品の管理者は、すべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。セキュリティのため、定期的にパスワードを変更することをおすすめします。

Windowsで使用する場合の注意

■本製品にネットワーク経由で接続可能なWindowsの端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。
推奨する同時接続台数は50台までとなります。
（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）

■本製品に非常に大きなファイルをコピーしている最中にキャンセルした場合、コピー中のファイルが不完全に残ってしまうことがあります。
不完全に残ったファイルは消去してから再度コピーをやり直してください。

■本製品にファイルのコピー中にLANケーブルが抜けるなどして中断された場合、コピー途中のファイルが本製品上に残り消去できなくなる場合があります。
この場合は、いったん本製品の電源を切り、再度起動してからコピー途中のファイルを削除し、コピーをやり直してください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について説明します。

箱の中を確認する

内容物リストを確認します。 10ページ

動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種やOSなどを確認します。 11ページ

各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能を確認します。 12ページ

設置条件

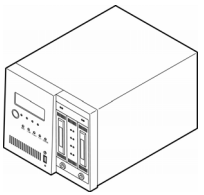
本製品の設置条件を確認します。 15ページ

箱の中を確認する

ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

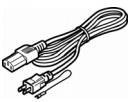
内容物

☐ 本体　（１台）



☐ キー　（２個）

☐ AC電源ケーブル（１本）



☑ 取扱説明書（１冊：本書）

☐ ハードウェア保証書（１枚）

☐ DELTA2 シール（１枚）

注意！

■箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
■イラストは若干異なる場合があります。

《ユーザ登録やサポートソフトのダウンロードについて》

ユーザ登録をする際や、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にS/N(シリアル番号)が必要な場合があります。
S/Nは本製品に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。
（ 例： ABC1234567ZX ）

▼S/Nをメモしてください。

●ユーザ登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

《本製品の S/N の位置》

S/Nは、本製品背面に貼付されています。

動作環境を確認する

■対応機種■

パソコン本体	NEC PC98-NX シリーズ、DOS/V マシン※

※ 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。

■サポート対象対応OS一覧■ （日本語版に限る）

サポート対象 対応OS一覧 （日本語版）	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、 Windows 98(Second Edition 含む)、 Windows NT 4.0 Service Pack4 以降

※弊社では、上記のOSでご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいております。上記以外のOSでご利用いただく場合のサポートは行っておりませんのでご了承ください。

■本製品のUSBポートにつながる機器

対応USB機器	**●弊社製ハードディスク** HDW-UE シリーズ、HDX-UE シリーズ

※ 最新の対応機器については、弊社ホームページをご覧ください。

⇒ http://www.iodata.jp/

注意！

バスパワー(ACアダプター不要で動作する)で動作するUSB機器は接続しないでください。故障の原因となります。（例）弊社製HDPXシリーズなど

■本製品のシリアルポートにつながる機器(118ページ参照)

対応UPS機器	三菱電機製 FREQUPS シリーズ(無停電電源装置)

■本製品のパラレルポートにつながる機器(119ページ参照)

対応プリンタ	パラレルポート接続プリンタ

※動作確認済機種については、弊社ホームページをご覧ください。
インク残量や特殊な印刷処理に必要な双方向機能には対応しておりません。

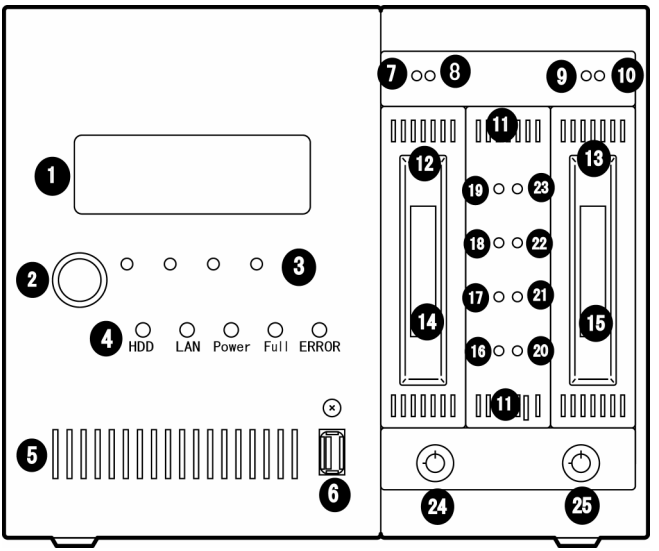
■交換用オプション品(2004年11月現在)

交換用HDDキャニスタ	HDR-XTRAY
交換用ハードディスク	HDI-R シリーズ（エージング済）

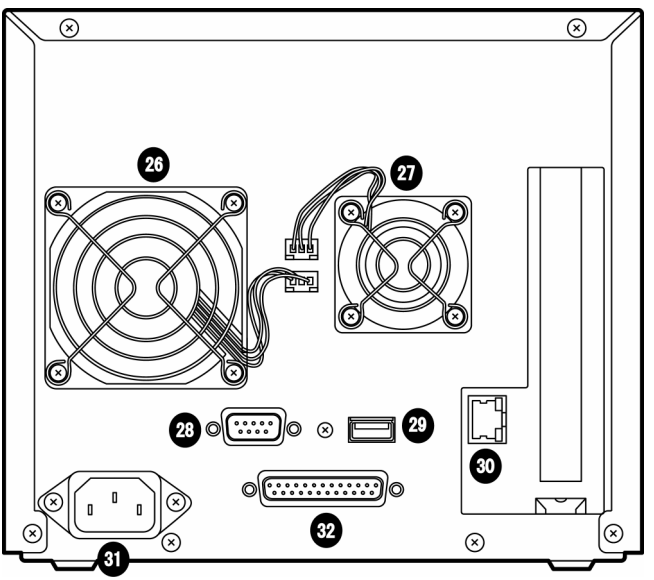
※ 詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

各部の名称と機能

■前面



■背面



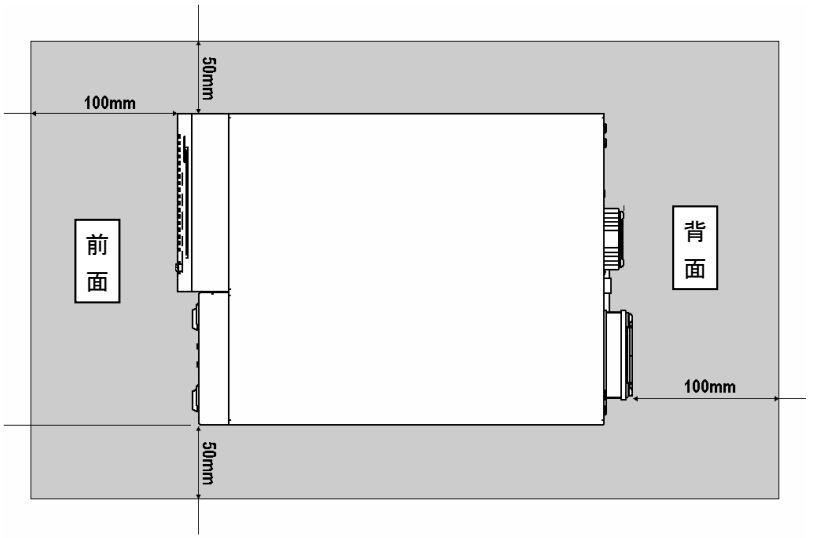
名前		機能	
❶	状態表示 液晶パネル	本製品の稼動状況や、異常停止時の状況を表示します。	
❷	電源スイッチ	起動、強制停止を行います。 稼動時に5秒間押しつづけると強制停止します。	
❸	設定ボタン	状態表示液晶パネルの画面指示に従った操作を行います。 先の細いピンなどで押します。	
❹	状態表示LED	HDD	RAIDユニット(HDD)へのアクセス時に点灯します。
		LAN	ネットワークのトラフィックがある場合に点灯します。
		Power	電源の投入を表示します。電源投入時には点灯します。
		Full、 ERROR	ステータス表示ならびにエラー検知時に点灯します。
❺	本体吸気孔	ディスクドライブ以外の部分を冷却するために吸気する穴です。 ふさがないように注意してください。	
❻	前面USB コネクタ	USBマスストレージクラスに対応した機器を接続します。 背面USBコネクタと排他使用となります。	
❼	HDD1 ステータスLED	HDD1のステータス状況を表示します。	
❽	HDD1 アクセスLED	HDD1へのアクセス状況を表示します。	
❾	HDD2 ステータスLED	HDD2のステータス状況を表示します。	
❿	HDD2 アクセスLED	HDD2へのアクセス状況を表示します。	
⓫	RAID吸気孔	ディスクドライブを冷却するために吸気する穴です。ふさがないように注意してください。	
⓬	HDD1ユニット	HDD1のユニットを搭載します。	
⓭	HDD2ユニット	HDD2のユニットを搭載します。	
⓮ ⓯	RAIDハンドル	HDDを着脱するときに、格納されたハンドルを回転させて使います。ハンドルの下部を押すと回転します。	
⓰ ～ ㉓	RAID 状態表示LED	RAIDの状態を表示します。正常時は上下に折り返し点灯します。	
㉔	HDD1鍵	HDD1ユニットの物理的なロックと電源スイッチを兼ねています。 HDD1ユニットの着脱時にロック/解除を行います。	
㉕	HDD2鍵	HDD2ユニットの物理的なロックと電源スイッチを兼ねています。 HDD2ユニットの着脱時にロック/解除を行います。	

	名前	機能
26	**RAIDファン**	RAID（HDD）の冷却を行うファンです。
27	**電源ファン**	電源の冷却を行うファンです。
28	**シリアルコネクタ**	UPSとシリアル接続を行うためのコネクタです。
29	**背面USBコネクタ**	USBマスストレージクラスに対応した機器を接続します。 前面USBコネクタと排他使用となります。 接続可能な機器は、【本製品のUSBポートにつながる機器】（11ページ）を参照。
30	**イーサネット コネクタ**	Ethernet に接続します。 （パソコンと１対１で接続する場合は、クロスLANケーブルをお使いください）
31	**AC電源**	電源供給のため添付のACケーブルを接続します。
32	**パラレルコネクタ**	パラレルポートを搭載したプリンタを接続します。

設置条件

本製品の設置は、冷却のための十分な吸排気ができるように、本体の周囲に下記の空間を確保して設置してください。

・本体前面より100mm
（ディスクトレイを抜き出すには本体前面に300mmの空間が必要です。）
・本体左右面よりぞれぞれ50mm
（十分な冷房設備がある環境において、ラックマウントに設置する場合は、本体左右どちらか一方の空間制限は10mmまで緩和されます。）
・本体背面（突起部除く）より100mm



⚠ 警告

厳守	塵や埃等の少ない環境で使用してください。 定期的に吸気口を点検し、塵や埃による詰まりがないことを確認してください。 吸気口の詰まりや、本体内に塵や埃が入ると、本体が加熱し、発熱や火災の危険があります。
禁止	本製品は、2台までの積み重ねは可能です。3台以上の積み重ねは危険ですので行わないでください。

MEMO

起動と終了

本製品をネットワークに接続して使えるようにします。

ネットワークに接続する

本製品をネットワークに接続します。 18ページ

起動する

本製品の電源を入れ、起動します。 19ページ

停止する

本製品の電源を切り、停止します。 21ページ

IPアドレスを設定する

本製品ののIPアドレスを設定します。 23ページ

ネットワークに接続する

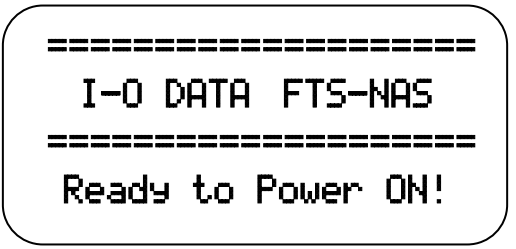
本製品をネットワークに接続します。

1 イーサネットコネクタにLANケーブルを挿し込み、反対側をHUBなどに接続します。

LANケーブル(カテゴリー５以上推奨)で接続してください。
その他必要に応じて、UPSとシリアルコネクタ、プリンタとパラレルコネクタを接続します。【UPS/プリンタの設置と運用】（118ページ）を参照。

2 AC電源に添付のAC電源ケーブルを挿し込み、反対側をコンセントに接続します。

安全な運用のために必ずアース線を接続してください。
→状態表示液晶パネルに以下の表示がされます。

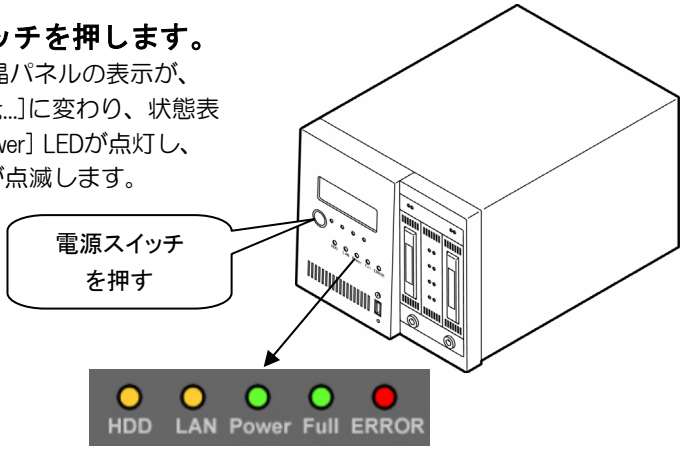


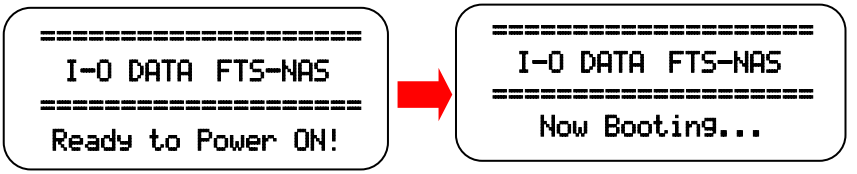
起動する

本製品を起動します。

1 電源スイッチを押します。

状態表示液晶パネルの表示が、[Now Booting...]に変わり、状態表示LEDの[Power] LEDが点灯し、[Full] LED が点滅します。



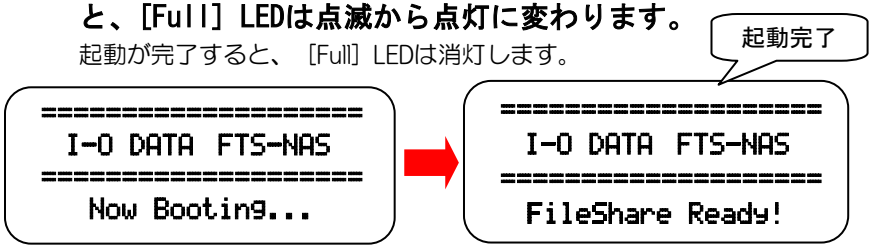


注意！

本製品にUSB機器を接続したまま起動しないでください。
誤って起動した場合は、USB機器を取り外し、電源スイッチを5秒以上押して電源を切ってください。

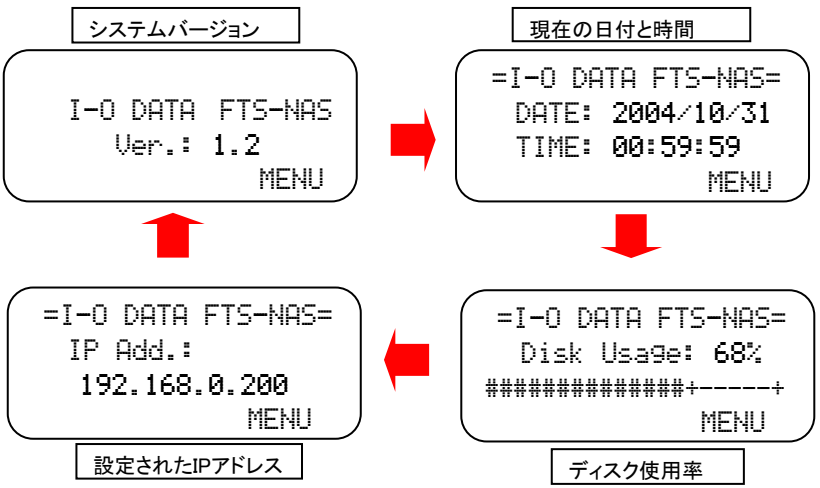
2 RAIDユニットの初期化音が「ドレミファソラシド」と鳴り、監視ユニットとRAIDユニットとの通信が開始されると、[Full] LEDは点滅から点灯に変わります。

起動が完了すると、［Full］LEDは消灯します。



3 本製品の動作中は、状態表示液晶パネルの表示は、下記の４つの内容を順にくりかえし表示します。

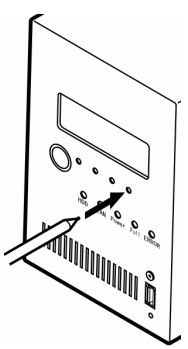
- ●システムバージョン
- ●現在の日付と時間
- ●ディスク使用率
- ●設定された IP アドレス



設定ボタンの操作について

状態表示液晶パネルの下部に4つの設定ボタンがあり、設定情報を表示したり、対話的に設定を変更することができます。ボタンは不用意に操作されることがないように穴の中に設置されています。ボタンを押すには、ボールペンの先や爪楊枝などを利用してください。

先端が極端に尖った固いものでボタンを押すことは、ボタンの故障につながりますのでおやめください。



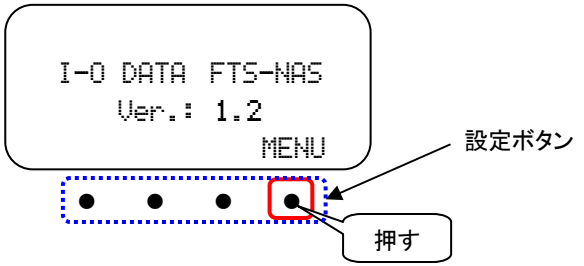
停止する

システムの停止処理はブラウザからアクセスする詳細設定※で行うことができますが、ここではより簡単な状態表示液晶パネルを使った停止方法を説明します。

※【システム － シャットダウン】（75ページ）を参照。

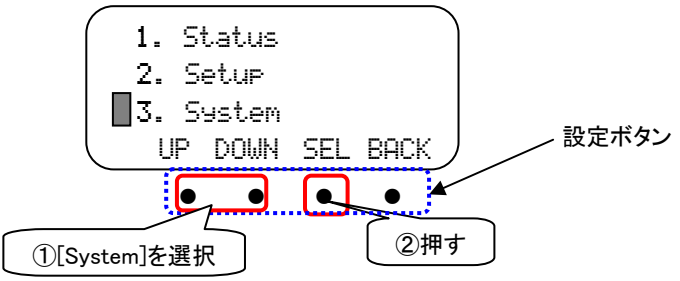
1 状態表示液晶パネルに表示している[MENU]に対応した設定ボタンを押します。

メニューモードに移行します。



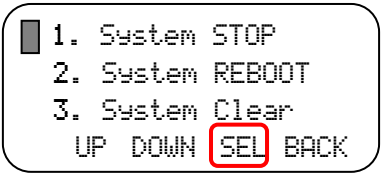
2 メニュー表示の左側にカーソルが表示されますので、UP/DOWNで[3. System]を選択し、[SEL]に対応する設定ボタン※を押します。

※以降の説明では「[xxx]に対応する設定ボタン」を「[xxx]ボタン」と記載します。



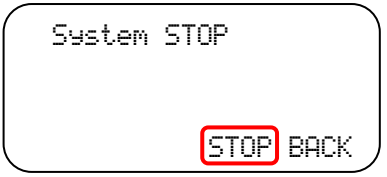
3 [1. System STOP] をUP/DOWNで選択し、[SEL]ボタンを押します。

BACKで通常モードに戻ります。



4 [STOP]ボタンを押します。

BACKで前の表示に戻ります。



5 システムの停止を待ちます。

POWER LEDが消灯し、状態表示液晶パネルの表示が待機状態になります。

参考

- システム上の異常によってソフトウェアによる自動停止ができない緊急の場合は、電源スイッチを5秒以上続けて押し下げる事で、監視ユニットが強制的に電源供給を停止します。
- 内蔵する監視システムによって、本製品に異常が検知された場合は、データを守るためにシステムは自動的に停止します。RAIDファン停止やRAIDの異常など緊急を要する異常の場合は、監視ユニットが強制的に電源を遮断します。本体ファン、CPUファンの異常などの場合には、システムによって正常な停止処理が行われます。

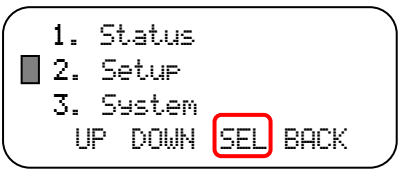
IPアドレスを設定する

IPアドレスの設定は、ブラウザからアクセスする詳細設定※で行うことができますが、ここではより簡単な状態表示液晶パネルを使った変更方法を説明します。

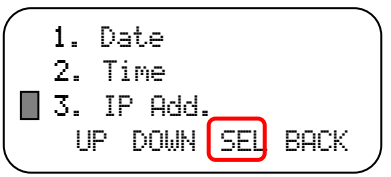
※【ネットワーク - IPアドレス設定】（61ページ）を参照。

※出荷時のIPアドレスは「192.168.0.200」となっています。
　ブラウザからこのIPアドレスを開くと設定画面にアクセスできます。

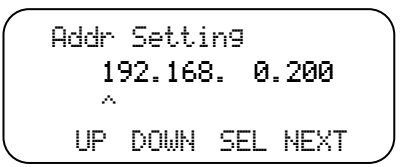
1 **【停止する】（21ページ）の操作と同様に、状態表示液晶パネルから、メニューモードを選択して、UP/DOWNボタンで[2. Setup]を選び、[SEL]ボタンを押します。**



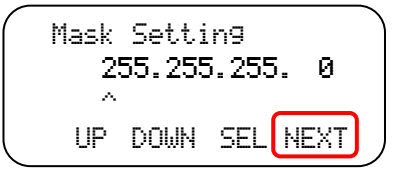
2 **UP/DOWNボタンで[3. IP Add.]を選び、[SEL]ボタンを押します。**



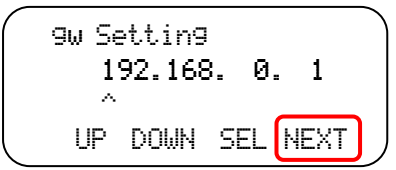
3 **数値の下に現在位置を示す「^」カーソルが表示されます。UP/DOWNボタンでカーソル位置の数字を変更し、[SEL]ボタンで次の位置に移動します。入力が終わったらNEXTボタンで次の画面に移動します。**



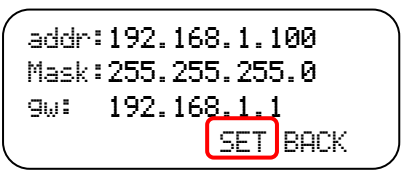
4 **IPアドレスと同様に、サブネットマスクを設定し、[NEXT]ボタンを押します。**



5 **次に、同様にデフォルトゲイトウエイを設定し、[NEXT]ボタンを押します。**



6 **最後に、確認の画面が表示されます。**
内容を確認して、SETボタンを押すと、本製品は指定のIPアドレスに設定されます。



参考

●入力を間違えた場合は、電源スイッチを軽く押すと手順1に戻ります。

●システムの日付と時間についても同様の操作で設定することができます。
手順*2*で、日付は「1.Date」を時間は「2.Time」を選択して設定します。
くわしくは、【メニューの起動方法】(53ページ)を参照してください。

運用する

本製品の運用方法について説明します。

運用上の注意
運用上の注意事項について説明します。 26ページ

アクセスする
アクセス方法について説明します。 27ページ

アクセス権の設定をする
アクセス権（ユーザ・グループ・共有）の
設定方法について説明します。 29ページ

運用状況の監視
運用状況の監視について説明します。 34ページ

ハードディスクの交換
ハードディスクの交換方法について説明します。 36ページ

バックアップ
蓄積されているデータのバックアップについて
説明します。 38ページ

全文検索機能
蓄積されているデータの検索方法について説明します。 42ページ

ウィルススキャン
ウィルススキャン　ソフト「FSAV for Samba」での
ウィルスチェックについて説明します。 47ページ

運用上の注意

●本製品のミラーリング機能使用時での注意事項

本製品は、ミラーリングにより、ハードディスクの故障などの物理的なデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザの操作ミス、使用中の停電などによる論理的なトラブルによるデータ損失を防ぐことはできません。

●ミラーリング動作中にハードディスクの故障を検出した場合

本製品はミラーリング動作中にエラーを検出した場合、できる限りのリカバリー処理（メインハードディスクの入れ替えや自動リビルドの開始など）を行いますが、リカバリー処理できないと判断した場合は動作不能と判断したハードディスクをミラーリングから論理的に切り離し、エラーの状態に応じたブザーを鳴らして警告します。

※ブザーの詳細については、【ブザー音について】（109ページ）を参照。

●本製品を廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

①本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。
その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

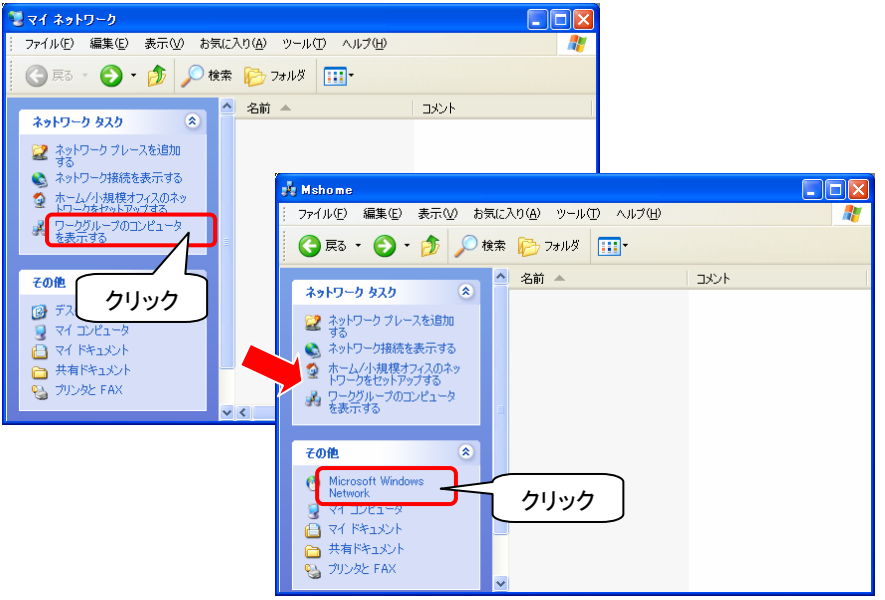
②情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

アクセスする

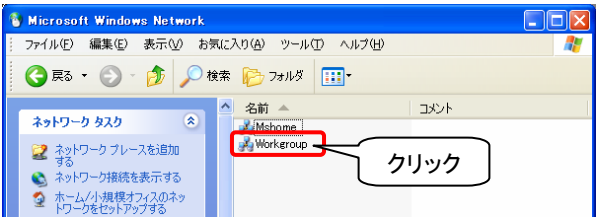
ネットワークに接続した本製品へのアクセスについて、Windows XPの場合について説明します。

1 [スタート]→[マイネットワーク]をクリックします。

2 [ワークグループのコンピュータを表示する]をクリックし、[Microsoft Windows Network]をクリックします。

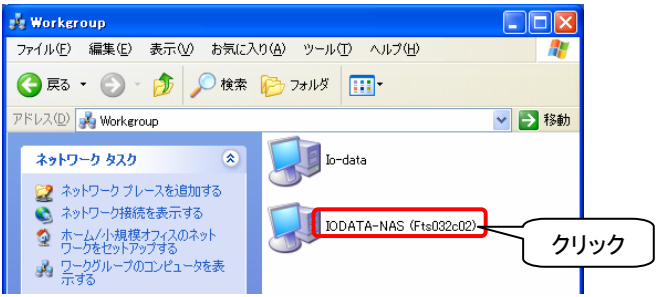


3 [Workgroup]をクリックします。

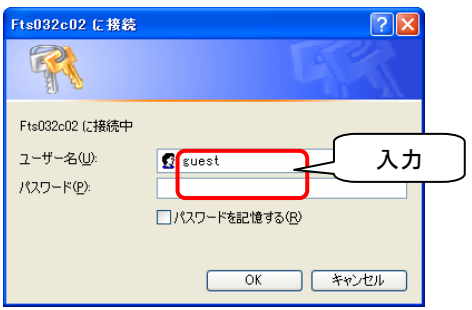


4 **[IODATA-NAS(Ftsxxxxxx)]をクリックします。**

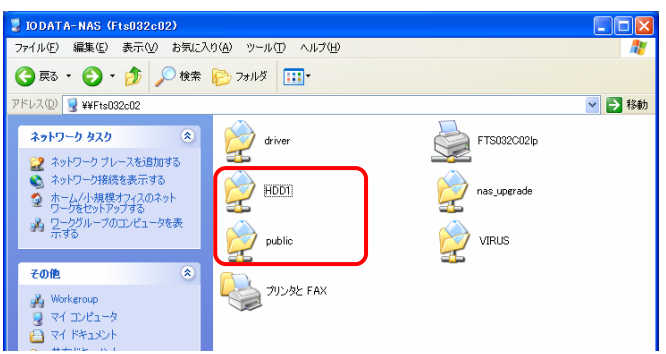
xxxxxxは、製品ごとに異なります。ここでは「032c02」の場合の例です。



5 **[ユーザー名]に、登録されているユーザ名(ここでは「guest」)、パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。**



6 **[HDD1]、[public]（guestユーザはpublicのみ）にデータを書き込む事ができます。**



アクセス権の設定をする

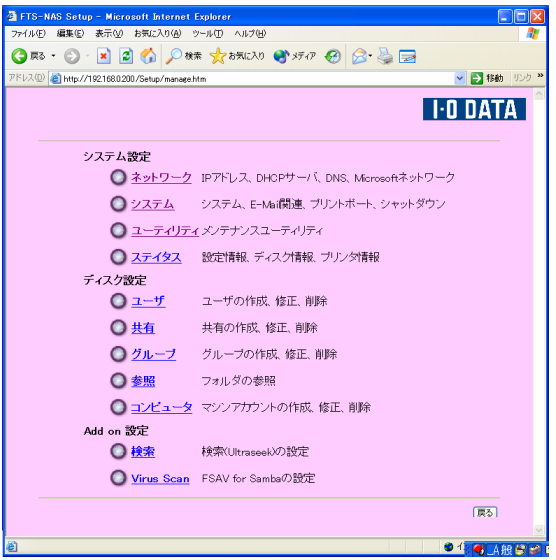
アクセス権の設定を行う場合、ユーザ、グループ、共有の設定を行う必要があります。各設定方法については、以下の手順をお読みください。

※動作させる上で必須となるブラウザは、Internet Explorer 6.0以降です。
JavaScriptはオンにしてご利用ください。

1 管理画面（詳細設定画面）を開きます。

開き方は、【初期画面】（58ページ）を参照。

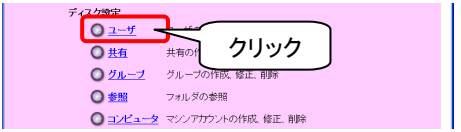
詳細設定画面



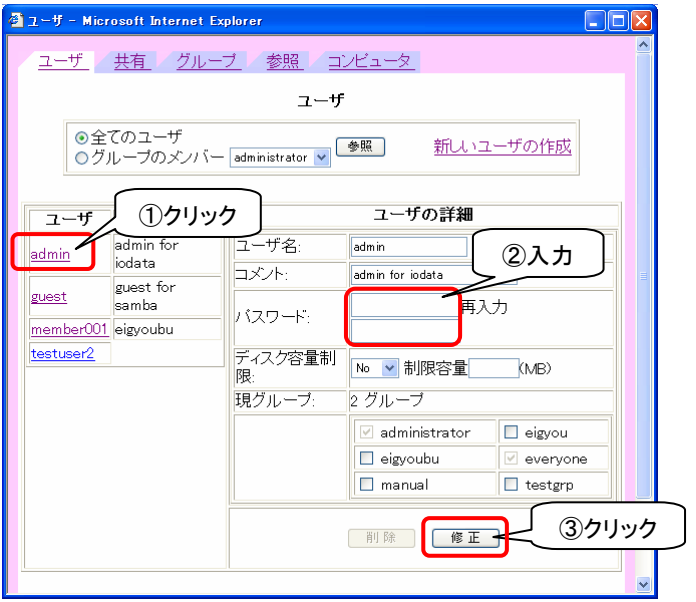
管理者(admin)のパスワードの作成

出荷時設定では、管理者（admin）のパスワードは設定されておりません。
パスワードを以下の手順にて設定してください。

1 [ユーザ]をクリックします。



2 [admin]をクリックし、パスワード（2段）をいったんクリアしてから、パスワードを入力（同じ内容を２回入力）し、[修正]ボタンをクリックします。



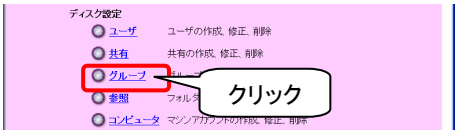
注意！

パスワードは、管理上重要なものです。忘れないようご注意ください。

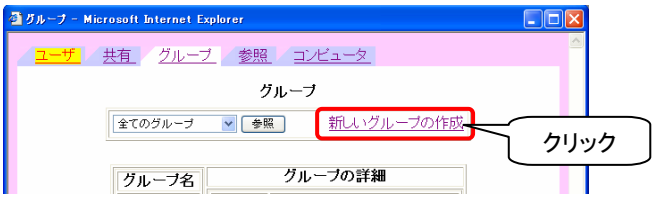
グループの設定

詳しい設定内容は、【ディスク設定 - グループ】（97ページ）を参照してください。

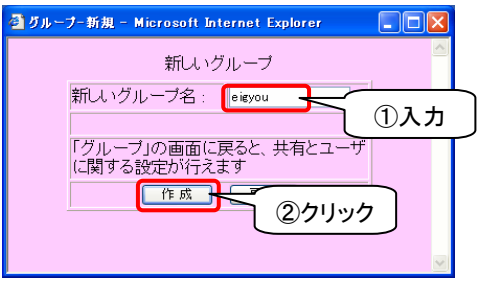
1 [グループ]をクリックします。



2 [新しいグループの作成]をクリックします。



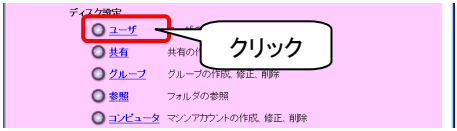
3 追加するグループ名を入力して[作成]ボタンをクリックします。



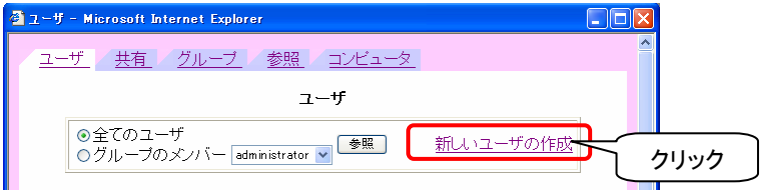
ユーザの作成

詳しい設定内容は、【ディスク設定 - ユーザ】（91ページ）を参照してください。

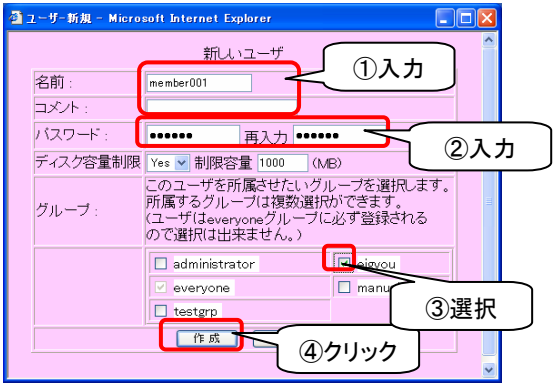
1 [ユーザ]をクリックします。



2 [新しいユーザの作成]をクリックします。



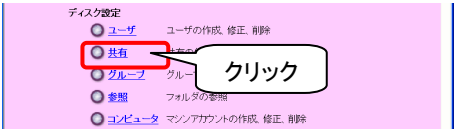
3 [名前]と[コメント]を入力し、[パスワード]、[再入力]に設定するパスワードを入力し、所属させたいグループを選択して[作成]ボタンをクリックします。



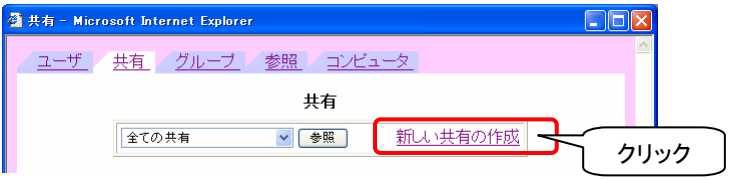
共有の作成

詳しい設定内容は、【ディスク設定 － 共有】（94ページ）を参照してください。

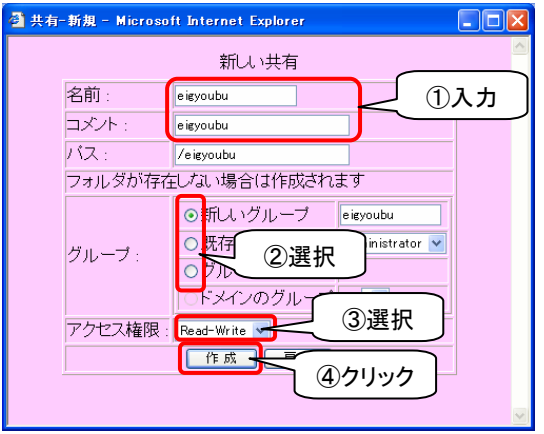
1 [共有]をクリックします。

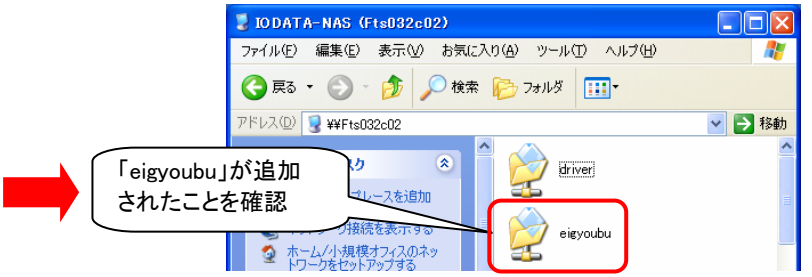


2 [新しい共有の作成]をクリックします。



3 [名前]と[コメント]を入力し、グループを選択し、アクセス権限を選択して[作成]ボタンをクリックします。





運用状況の監視

本製品の運用状況を監視して、ハードディスクがフルになる前に、ファイルの削除を行います。

ディスク使用量の監視

●状態表示液晶パネルで確認する

現在のディスクの使用率は、液晶画面で確認できます。

ディスク残量が少なくなると、本体正面の Full 、ERROR LEDで警告します。

使用量	Full LED	ERROR LED
～80%	消灯	消灯
80%～	遅い点滅	消灯
85%～	早い点滅	消灯
90%～	点灯	消灯
95%～	点灯	早い点滅

●グラフで確認する

ディスクの利用の変化は、ブラウザからアクセスする「ステイタス」-「グラフ」機能で確認できます。
グラフでは、一日の情報のほかに、週間、月間、年間のグラフを見ることができるので、データ整理の時期や、増設の時期を判断する目安になります。
くわしくは、【ステイタス - グラフ】（89ページ）を参照してください。

システム負荷の目安

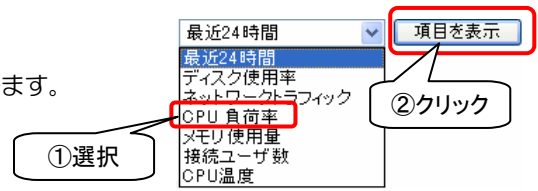
システム負荷の変化は、「ステイタス」-「グラフ」機能で確認できます。
グラフの表示方法は、【ステイタス - グラフ】（89ページ）を参照してください。
「グラフ」機能では、システムの一日の状態のほか、週間、月間、年間の遷移状態を見ることもできます。
「グラフ」機能を使って、システムの負荷の状態を監視することで、サーバの増設が必要になる時期を事前に予測することができます。

同時利用ユーザ数が極端に多くなると、ネットワークの負荷も増えるため、ファイル共有のパフォーマンスが悪くなります。「接続ユーザ数」と「ネットワークトラフィック」、「CPU 負荷率」、「メモリ使用量」などを参考にして、サーバの増設計画を事前に行ってください。

●項目の表示方法

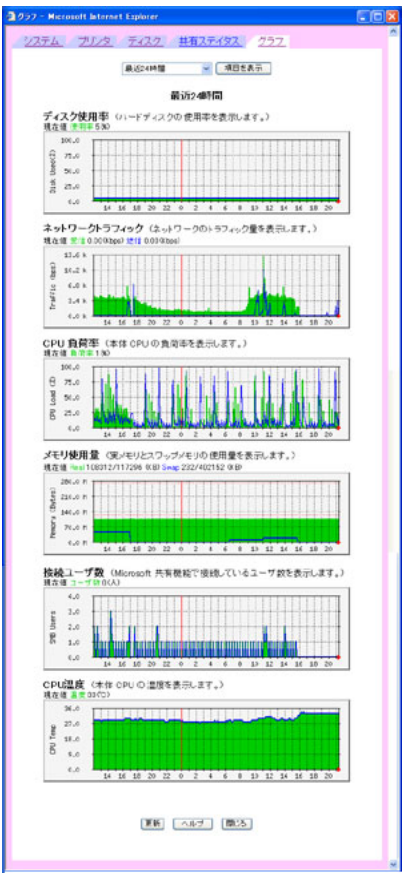
①項目を選択します。

②[項目表示]ボタンをクリックします。

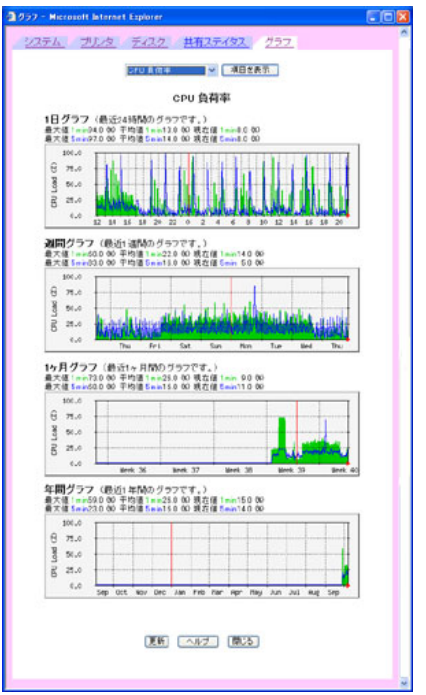


図（グラフ画面の表示例）

最近24時間



CPU負荷率



ハードディスクの交換

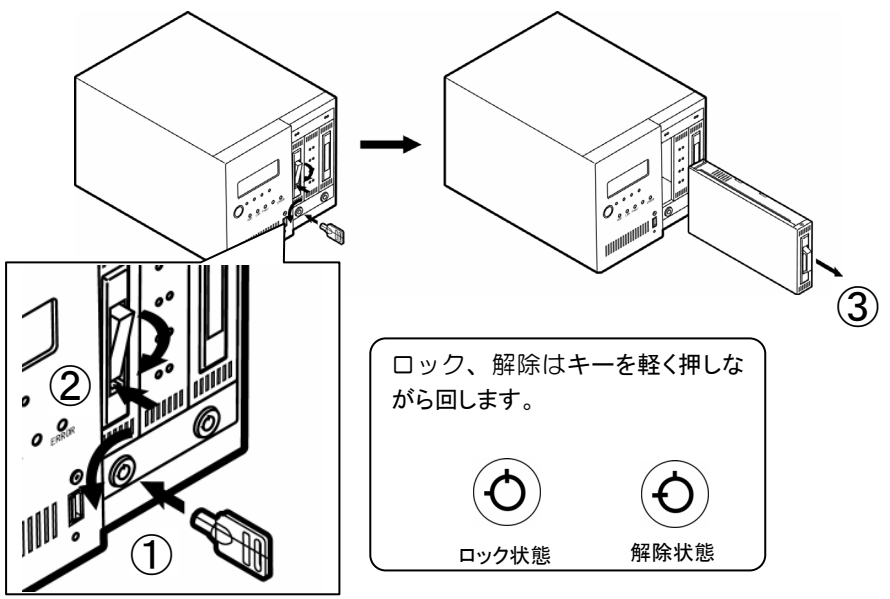
本製品になんらかの障害が発生した場合は、ブザー音とLED表示で警告します。【動作状態と対処】（111ページ）を参照し、HDDユニットの交換が必要なときは、以下の手順にて、HDDユニットを別売品の専用HDDユニットと交換します。
本製品はホットスワップ（本製品の電源が入っている状態でHDDユニットを取り外すこと）に対応していますので、本製品の電源が入っている状態でも取り外しが可能です。

交換するHDDユニットは同容量のものをご使用ください
交換で使用するHDDユニット、ハードディスクは、弊社製HDDユニット、ハードディスクを使用してください。【交換用オプション品】（11ページ）を参照してください。
現在ご使用のドライブに追加してミラーリングを構成するには、追加するドライブの容量は、全く同じ容量か、それより大きいドライブが必要です。

1 交換するHDDユニットを取り出します。

※正常なHDDユニットを取り出さないでください。
故障の原因となります。

①添付の鍵でロックを解除します。
②取手の下の方を押して、取手を回転させます。
③取手を持って引き出します。

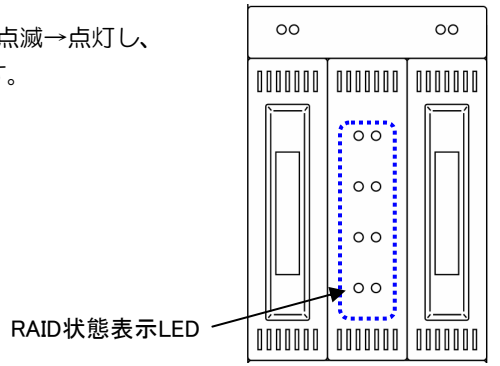


2 新しいHDDユニットを入れます。

①新しいHDDユニットを押し込みます。
②鍵でロックします。

3 しばらくすると、ブザー音が停止し、「ピポッ」という音がし、リビルドが開始します。

[RAID状態表示LED]が順に点滅→点灯し、
全点灯でリビルド完了です。



4 リビルドが完了すると「ドドソソララソ」のメロディが流れて、[RAID状態表示LED]が通常モードになります。

リビルド中のメインドライブ(ミラー元)のエラーについて

ドライブ交換を行い、リビルド中に動作中のミラー元のドライブで読み取りエラーが発生した場合、リビルド処理が続行できないので、ミラー元のドライブのエラー(赤)LEDが点灯し、リビルド処理を中断します。
その時点でのシステム動作の継続には問題がないため、自動停止は行われません。本製品が正常に動作している場合は、ミラー元のエラーは動作に支障のない部分で発生しているものと考えられますが、継続的な使用には問題があり、修理が必要です。
このような場合には、本製品のユーザー接続を停止し、内部のデータをネットワークごしにバックアップし、本体を修理に出してください。
HDDユニットでのバックアップをお持ちの場合は、ユニットを使った復旧処理で、データを書き戻すことができます。【HDDユニットにてバックアップ/リストアする場合】(40ページ)を参照してください。この場合、修理に出す必要は必要ありません。
RAID1によるミラーリングは、ディスク障害によるデータの損失を大幅に少なくすることはできますが、このような二重の障害発生まではカバーすることはできません。二重のハードウェア障害に備えて、HDDユニットでのバックアップをおすすめします。

バックアップ

バックアップするデータとしては、ユーザ情報（ユーザのパスワード、グループ設定など）、システム情報（システム設定情報）、ドキュメント（ユーザが保存したデータ）などのデータがあります。ユーザ情報とシステム情報は、バックアップファイルをパソコンにダウンロードするか、共有に置くことができます。
ドキュメントのバックアップは管理画面の【バックアップ】にて行う方法※と、HDDユニット単位でバックアップする方法があります。
※USB ポートに USB ハードディスクが接続されている必要があります。

USBポートはUSB1.1接続です。そのためドキュメントなどの大量のデータのバックアップはUSBポート経由だと時間がかかるため、HDDユニット単位でのバックアップをおすすめします。

USBハードディスクにてバックアップ/リストアする場合

USB コネクタに接続した USB ハードディスクにデータをバックアップします。
【本製品の USB ポートにつながる機器】11ページ参照。

注意！

はじめてバックアップ用ハードディスクを本製品に接続して使用する場合は、自動的にフォーマットされます。

※本製品で使用するバックアップ用ハードディスクは、本製品用にフォーマットする必要があります。本製品で使用するハードディスクのファイルシステムと、Windows で使用するファイルシステムが異なるため、すでに使用しているハードディスクをそのまま使用することはできません。フォーマットをするとすべてのデータが削除されますのでご注意ください。

■バックアップ/リストア

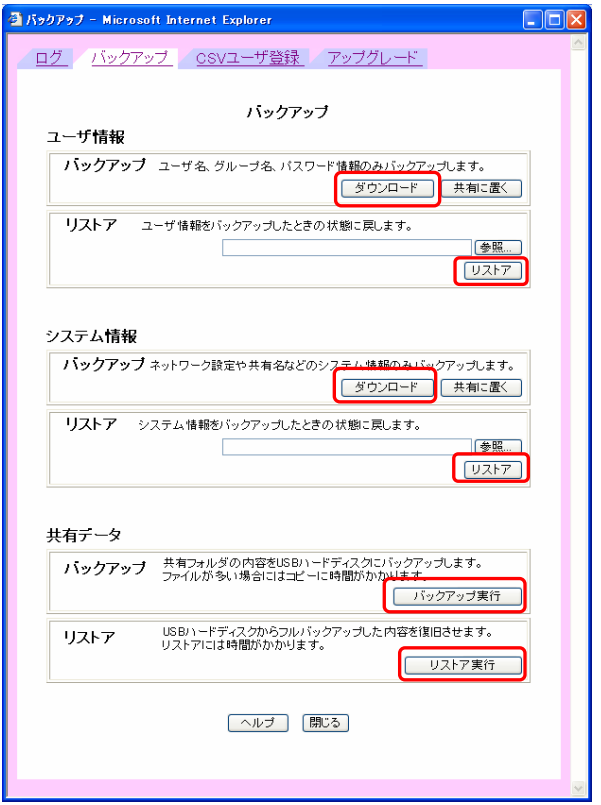
1 USBコネクタに対応するUSBハードディスクを接続します。

2 パソコンより初期画面を起動し、[管理者用ログイン]→[詳細設定]→[ユーティリティ]→[バックアップ]を順にクリックします。

【初期画面】58ページ参照。

3 USBハードディスクへデータをバックアップする場合は[ダウンロード]または[バックアップ実行]※ボタンをクリックします。
USBハードディスクに保存されたデータからリストアする場合は、[リストア]または[リストア実行]※ボタンをクリックします。

※USBポートにUSBハードディスクが接続されていないと表示されません。



詳しくは、【ユーティリティ - バックアップ】80ページを参照。

HDDユニットにてバックアップ/リストアする場合

HDDユニットを定期的に交換して、丸ごとバックアップします。

■バックアップ

1 本体を停止してHDDユニットを一台だけ抜き取り、新しいHDDユニットを入れます。

交換方法は、【ハードディスクの交換】36ページ参照。
抜き取ったHDDユニットをバックアップとして保存します。
新しいHDDの内容は完全に上書きされ削除されますのでご注意ください。

■リストア

HDDユニットごとリストアする場合は、いったん現在のRAID情報を初期状態に戻してから行います。

1 本製品を停止した状態で、HDDユニットを両方とも取り出し、電源スイッチを押します。

→ピーポーと警告音が鳴り、[ERROR]ランプが赤点滅します。
→自動的に停止します。

2 状態表示液晶パネルの[OK]ボタンを押します。

RAID情報が初期化されました。

3 リストアしたいHDDユニットを一台だけ入れ、ロックして電源スイッチを押します。

「ドドソソララソ」とマスタードライブ初期化音が鳴り、続いて「ピッピッ、ピッピッ、・・・」と継続的に「ディスクなしエラー警告音」が鳴ります。

4 ハードディスクにアクセス開始し、1ドライブで起動開始します。

起動しない場合は、電源ボタンを長押しして強制停止を行い、手順１～３の手順を実行してください。

5 ２つ目のHDDユニットを入れて、ロックします。

2つ目のHDDの内容は、上書きによって消去されますのでご注意ください。

「ツーピッ」と音がして警告音が停止してリビルド（下記の参考を参照）を開始します。

リストアを行わずにバックアップの内容のみを参照する場合は、2つ目のHDDユニットを入れずに、空いたドライブのキーをON/OFFし、ブザー音を停止して運用を行ってください。運用中のドライブを元に戻す手順は、「リストア」する場合と同じ手順です。

参考

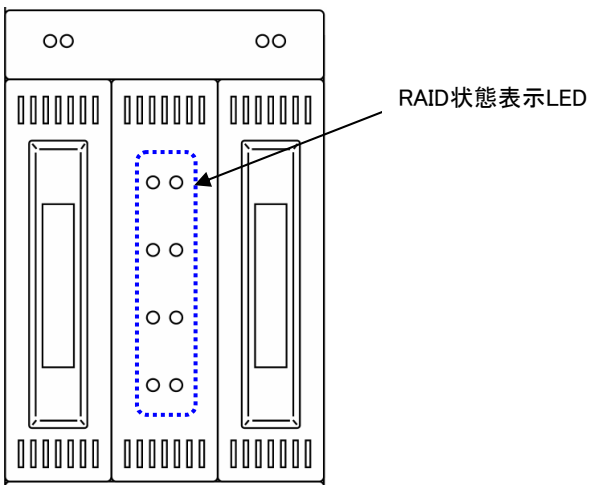
RAIDのリビルド作業について

・リビルド中は、RAID状態表示LEDが青色点滅→点灯し、リビルドの進捗状況がわかります。

・RAIDのリビルド作業は、ドライブに何もアクセスがない状態で、1Gバイトあたり30秒程度かかりますので、160Gバイトのドライブの場合は80分ほど必要です。ドライブへのアクセスがある状態では、アクセスが優先されるため、その分リビルド時間が長くなります。

・リビルド中にシャットダウンもしくは強制的な電源断が起きた場合は、電源の再投入時には、はじめからリビルド処理を開始します。

・リビルドが終了すると「ドドソソララソ」と終了音が鳴ります。



全文検索機能

本製品内に蓄えられたデータを検索し、内容を表示することができます。
本製品には全文検索エンジン製品である「Ultraseek」のNAS限定版が組み込まれています。NAS限定版では、検索対象が本製品のストレージ内のディレクトリに限定されており、製品版と比較して外部サイトのクローリング機能、詳細設定機能などが限定されています。
全文検索機能をご利用になる前に、「Ultraseek」の NAS 限定版のライセンス※をお読みください。FTS-NAS の全文検索機能をご利用になる場合は、ライセンスを受諾したことになりますので、ご注意ください。
※「Ultraseek」の NAS 限定版のライセンスは、【全文検索（Ultraseek　NAS 限定版）のご利用にあたって】124ページを参照してください。

使用上の注意

・「Ultraseek NAS限定版」のサポートについて

本製品に組み込まれた「Ultraseek NAS限定版」につきましては、(株)日本ベリティならびに国内代理店であるデジタルガレージ(株)は一切のサポートを提供いたしません。
本製品に組み込まれた「Ultraseek NAS限定版」についてのお問い合わせは、弊社の製品サポート窓口へお問い合わせください。

・検索できる最大ファイル数

本製品に含まれる“Ultraseek”の最大検索文書数は10000ファイルです。
検索対象となるディレトリ内で10000ファイルを越えた時点から、インデックスに反映されなくなります。
内部に蓄積したファイル数が10000ファイルより多い場合は、設定で検索対象のフォルダを絞ることができます。
※検索ドキュメント数のアップグレードは提供されません。

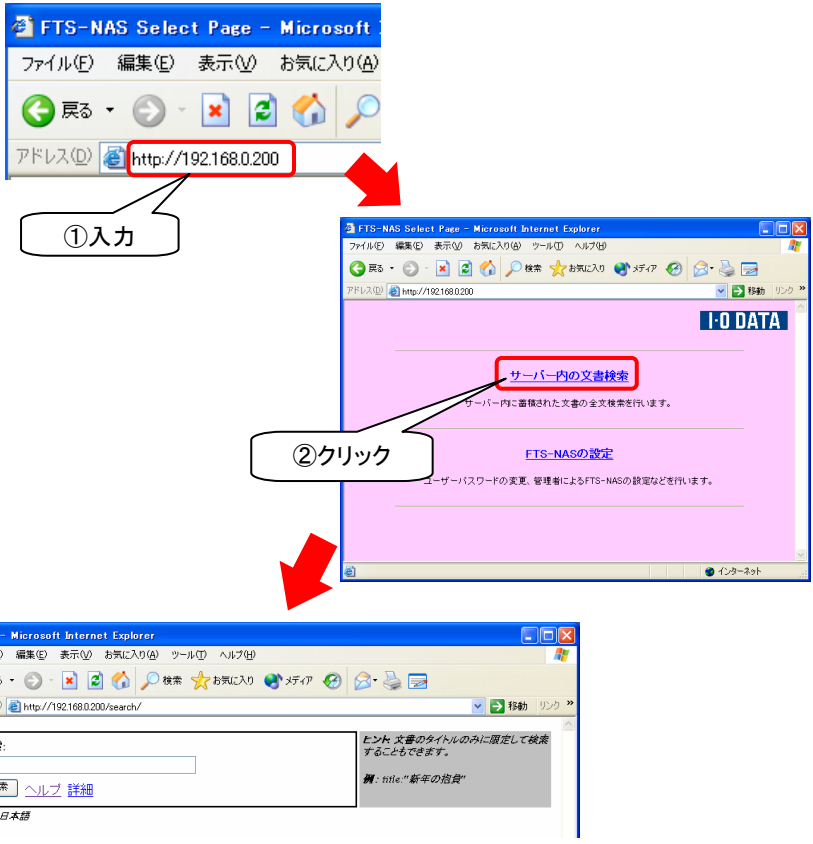
・検索可能なファイル形式

検索のためのインデックス作成の対象となるファイル形式は以下の形式です。
テキスト、HTML、PDF、
Microsoft Office文書（Word、Excel、PowerPoint）

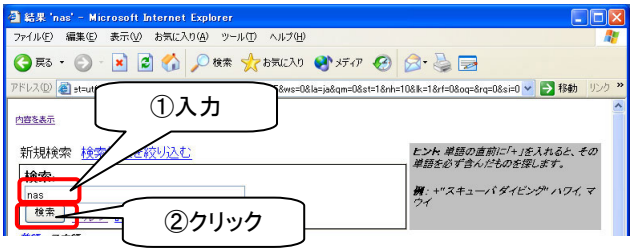
起動方法

※動作させる上で必須となるブラウザは、Internet Explorer 6.0以降です。
ブラウザの動作を制限するようなソフトウェアは終了してください。
JavaScriptはオンにしてご利用ください。

1 Webブラウザを起動して、本製品に設定されたIPアドレスを入力します。（出荷時設定のIPアドレスでの例です。）
例）http://192.168.0.200
[サーバー内の文書検索]をクリックします。
→検索画面が開きます。

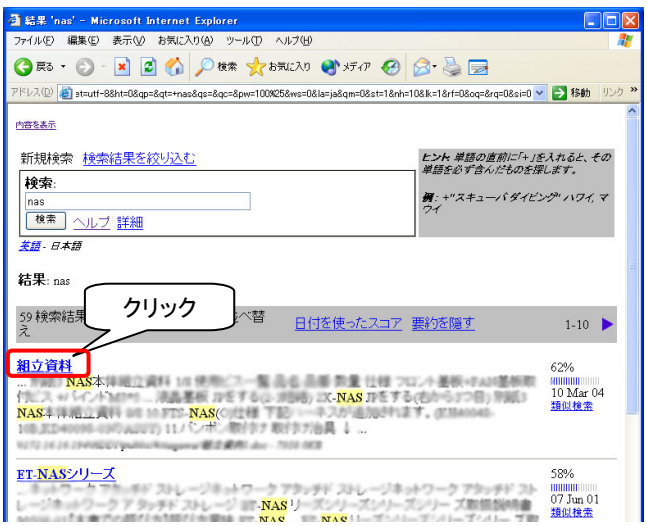


2 検索する文字を入力し、[Enter]または[検索]ボタンをクリックします。



3 タイトルをクリックすると内容が表示されます。

検索結果からタイトル部分をクリックすると、ファイルの内容によって対応アプリケーションが起動します。



注意！

検索結果からタイトル部分をクリックして対象ファイルを直接開くには、あらかじめ明示的にFTS-NASにIPアドレスで接続している必要があります。
明示的にIPアドレスで接続を行うには、[マイネットワーク]→[ネットワークプレイスの追加]から「¥¥192.168.0.200」のように「¥¥」に続いてIPアドレスを入力し、必要であればFTS-NASに登録されたユーザのユーザ名とパスワードを入力します。（アクセス権限のないファイルは開くことができません。）

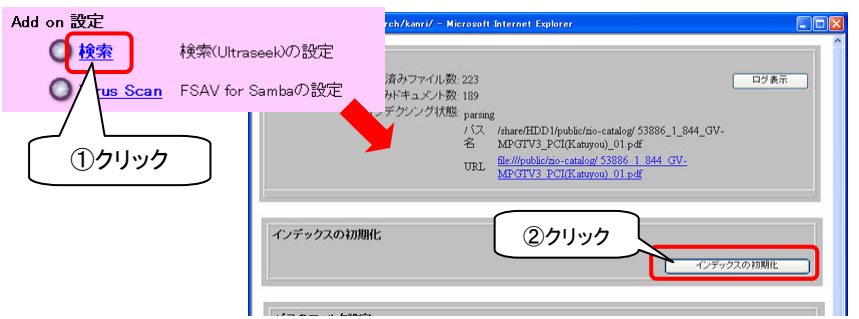
検索機能のメンテナンス

●インデックスの初期化

全文検索機能では、定期的（「再スキャンの間隔 」で指定された時間）に蓄積されたファイルのインデックスを作成して、より高速な検索を行っています。
そのため、大量のファイルを削除すると、インデックスにすでに削除された情報が残り、検索結果に存在しないファイルが表示されます。
同様に大量のファイルの追加を行った場合、「再スキャンの間隔 」で指定された次のスキャン時間になるまで、全文検索の結果に表示されません。

このような状態を避けるには、手動でインデックス初期化を行います。
インデックスの作成は、管理画面から「検索」を選び、「インデックスの初期化」ボタンをクリックします。

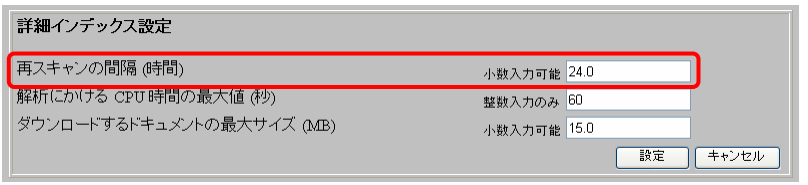
※手動でのインデックスの初期化には、システムに大きな負荷がかかりますので、利用の少ない時間帯を選んで行うことをおすすめします。



●インデックスの作成

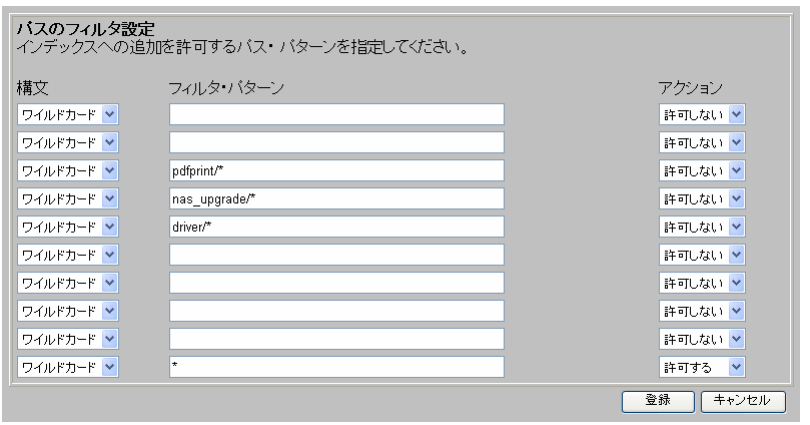
全文検索機能では、出荷時設定では全ての共有フォルダが検索対象となります。インデックス作成の進捗状況は、検索設定画面のステータスならびに「ログ表示」ボタンで確認できます。
インデックスの更新は24時間に1回（出荷時設定）、検索対象として指定されたフォルダに対して更新されたファイル（前回の更新から新たに削除、追加が行われたもの）のインデックスを作成し直します。

インデックスの更新間隔の設定は、検索設定画面の「詳細インデックス設定」-「再スキャンの間隔」で設定することができます。



●インデックスからの除外

インデックス作成時にインデックスに追加を許可するものと、許可しないものを指定できます。指定はファイルパスで行い、ワイルドカードと正規表現で設定できます。



ウィルススキャン

「FSAV for Samba」はウィルススキャンを行うソフトウェアです。

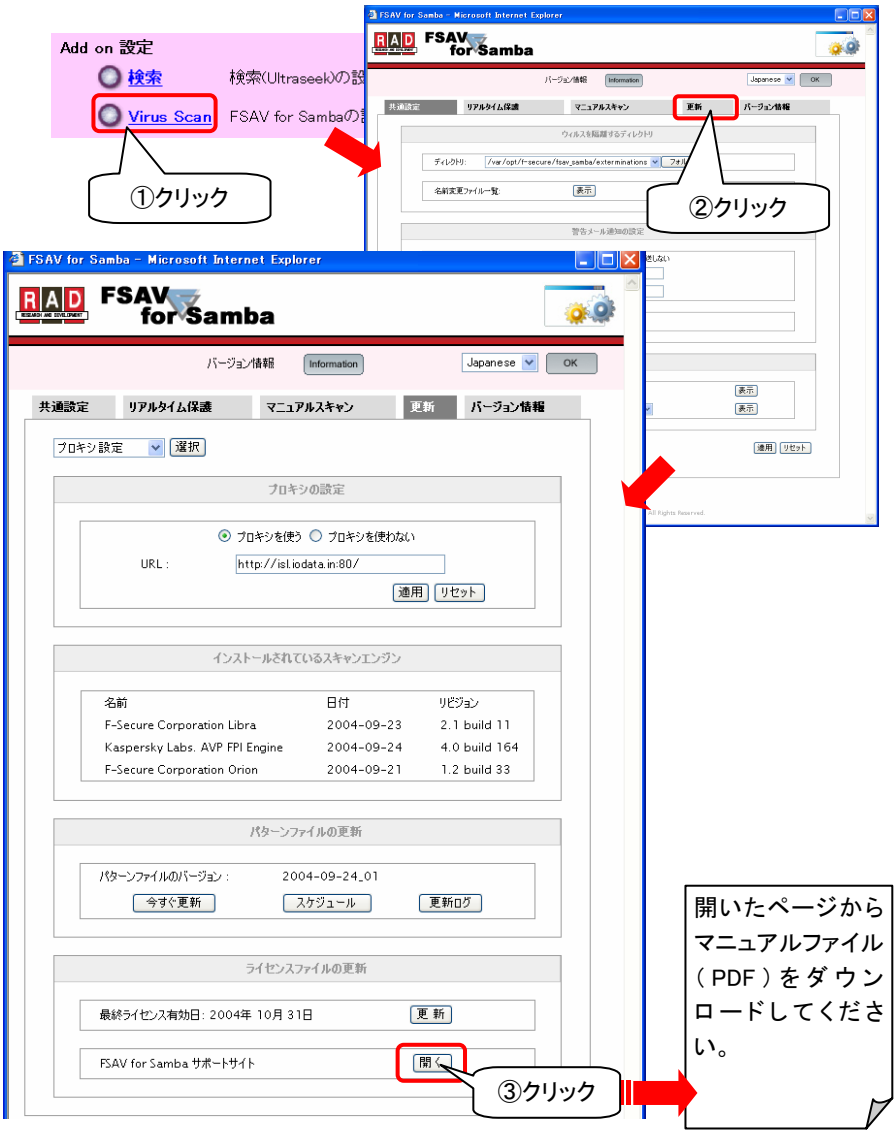
注意！

本製品に含まれる「FSAV for Samba」は体験版です。起動開始から30日間有効な体験版ライセンスが付属しています。
体験版ライセンスでご利用されている、「FSAV for Samba」についてのお問い合わせは、**弊社ならびに「FSAV for Samba」開発元の日本ラッドおよびウィルススキャンエンジンの開発元の日本エフセキュアのいずれでもサポート対象外です。**
「FSAV for Samba」のライセンス購入方法などについては、【使用しているソフトウェアについて】(123ページ)を参照してください。

出荷時設定では、本製品からファイルを操作した場合にウィルスチェックが行われるように設定されていません。ウィルススキャンを行う場合は、「リアルタイム保護」メニューにある「ウィルススキャンフォルダの選択」を行ってください。
【リアルタイムスキャンの設定方法】(49ページ)を参照してください。
※チェック方法の設定は変更することができます。設定方法などの詳細は、RAD社のホームページの「FSAV for Samba」のマニュアルを参照してください。
【FSAV for Samba マニュアル参照方法】(48ページ)を参照。

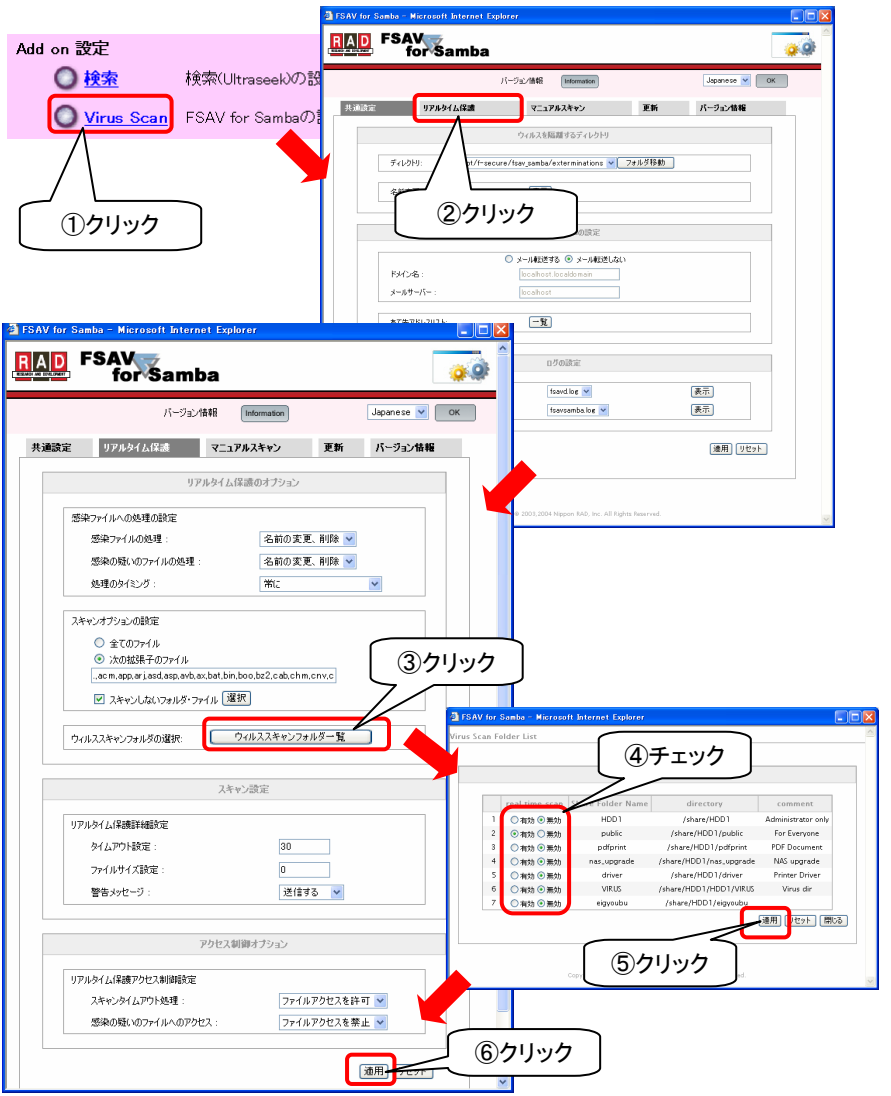
FSAV for Samba マニュアル参照方法

1 管理画面から[Virus Scan]をクリックし、[更新]タブをクリックし、FSAV for Samba サポートサイトの[開く]ボタンをクリックします。



リアルタイムスキャンの設定方法

1 管理画面から[Virus Scan]→[リアルタイム保護]タブ→データを設定し、[ウィルススキャンフォルダー覧]→有効・無効にチェック→[適用]ボタン→[適用]ボタンクリックします。

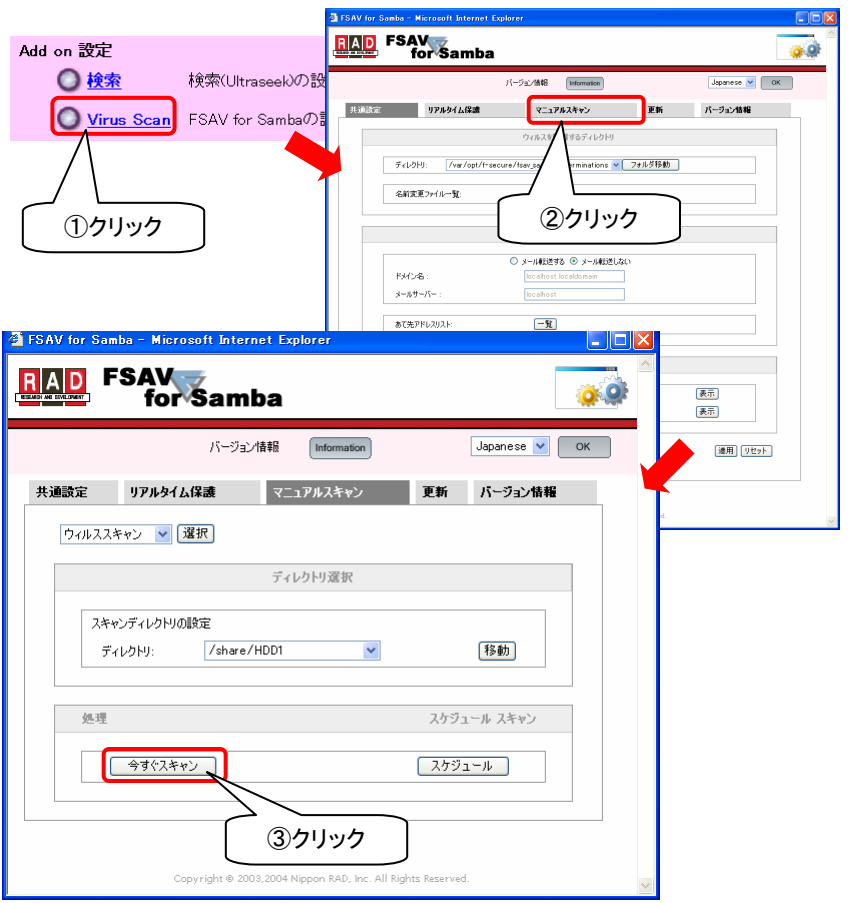


マニュアルスキャンの方法

大量のファイルを一括で追加した場合は、マニュアルでスキャンを行うことができます。「FSAV for Samba」 の設定画面を開き、「マニュアルスキャン」タブをクリックします。「今すぐスキャン」ボタンを押して指示に従ってください。

※マニュアルスキャンには、システムに大きな負荷がかかりますので、利用の少ない時間帯を選んで行うことをおすすめします。

1 管理画面から[Virus Scan]をクリックし、「マニュアルスキャン」タブをクリックし、[今すぐスキャン]ボタンをクリックします。



液晶メニューについて

本製品前面の状態表示液晶パネルのメニューについて説明します。

操作方法
メニューの操作方法を説明します。 52ページ

メニューの起動方法
メニューを起動します。 53ページ

Status(ステータス)について
ステータスについて説明します。 54ページ

Setup(セットアップ)について
セットアップについて説明します。 54ページ

System(システム)について
システムについて説明します。 55ページ

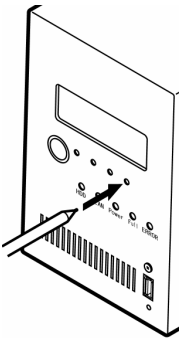
操作方法

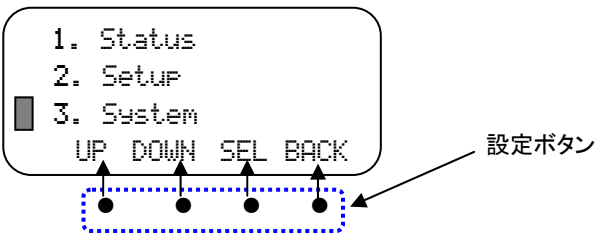
本製品前面の状態表示液晶パネルと設定ボタンを使って、IPアドレスの設定やシステムの停止処理などを行うことができます。

設定ボタンの操作について

状態表示液晶パネルの下部に4つの設定ボタンがあり、設定情報を表示したり、対話的に設定を変更することができます。ボタンは不用意に操作されることがないように穴の中に設置されています。ボタンを押すには、ボールペンの先や爪楊枝などを利用してください。

先端の極端に尖った固いものでボタンを押すことは、ボタンの故障につながりますのでおやめください。





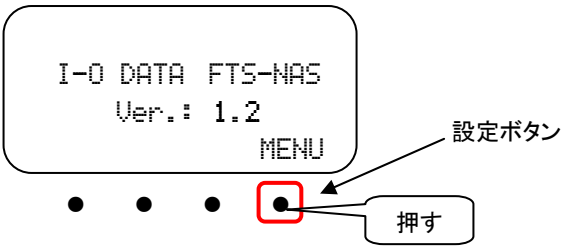
状態表示液晶パネルの最下行が設定ボタンに対応したコマンドになっています。

メニューの起動方法

以下にメニュー起動方法について説明します。

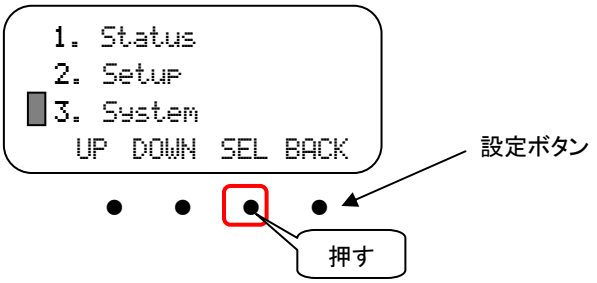
1 状態表示液晶パネルに表示している[MENU]に対応した設定ボタンを押します。

メニューモードに移行します。



2 メニュー表示の左側にカーソルが表示されますので、UP/DOWNで[1 2 3]を選択し、[SEL]に対応する設定ボタン※を押します。

※以降の説明では「[xxx]に対応する設定ボタン」を「[xxx]ボタン」と記載します。



[1. Status]については -----> 【Status(ステータス)について】54ページへ

[2. Setup]については -----> 【Setup(セットアップ)について】54ページへ

[3. System]については -----> 【System(システム)について】55ページへ

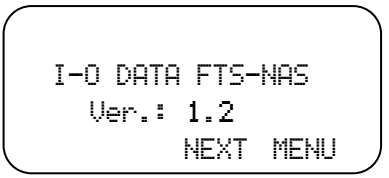
[BACK]ボタンでメニュー画面に戻ります。

Status(ステータス)について

1 [NEXT]ボタンを押す毎に、「システムバージョン」→「設定された日付と時間」→「ディスク使用率」→「設定された IP アドレス」を表示します。

※表示内容は、【起動する】（19ページ）と同じです。

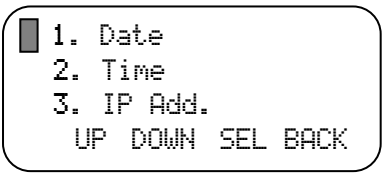
[NEMU]ボタンでメニュー画面に戻ります。



Setup(セットアップ)について

1 「年月日」、「時刻」、「IP アドレス」が設定できます。[UP/DOWN]ボタンで 1.2.3 を選択し、[SEL]ボタンを押します。

[BACK]ボタンでメニュー画面に戻ります。

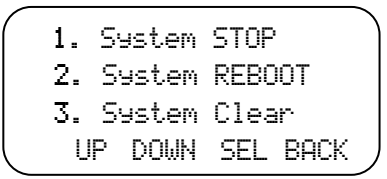


項目	説明
1. Date	年/月/日を設定します。
2. Time	時刻を設定します。
3. IP Add.	IPアドレスを設定します。

※設定方法は【IPアドレスを設定する】23ページをご覧ください。

System(システム)について

1 「停止」、「再起動」、「初期化」ができます。
[UP/DOWN]ボタンで 1.2.3 を選択し、[SEL]ボタンを押します。
[BACK]ボタンでメニュー画面に戻ります。



項目	説明
1. System STOP	本製品を停止します。【停止する】21ページ参照。
2. System REBOOT	本製品を再起動します。
3. System Clear	IPアドレスと管理メニューの認証パスワードを初期状態に戻します。

MEMO

詳細設定について

本製品の詳細設定について説明します。

初期画面

詳細設定するための初期画面を起動します。 58ページ

管理画面

管理者が設定できる詳細設定について説明します。 59ページ

システム設定

ネットワーク － IPアドレス設定 61
ネットワーク － DHCPサーバ設定 62
ネットワーク － DNS設定 63
ネットワーク － Microsoftネットワーク 64

システム － システム 70
システム － Email 72
システム － プリンタ 74
システム － シャットダウン 75
システム － UPS設定 77
システム － 設定初期化 78

ユーティリティ － ログ 79
ユーティリティ － バックアップ 80
ユーティリティ － CSVユーザ登録 82
ユーティリティ － アップグレード 83

ステイタス － システム 84
ステイタス － プリンタ 86
ステイタス － ディスク 87
ステイタス － 共有ステイタス 88
ステイタス － グラフ 89

ディスク設定

ディスク設定 － ユーザ 91
ディスク設定 － 共有 94
ディスク設定 － グループ 97
ディスク設定 － 参照 99
ディスク設定 － コンピュータ 101

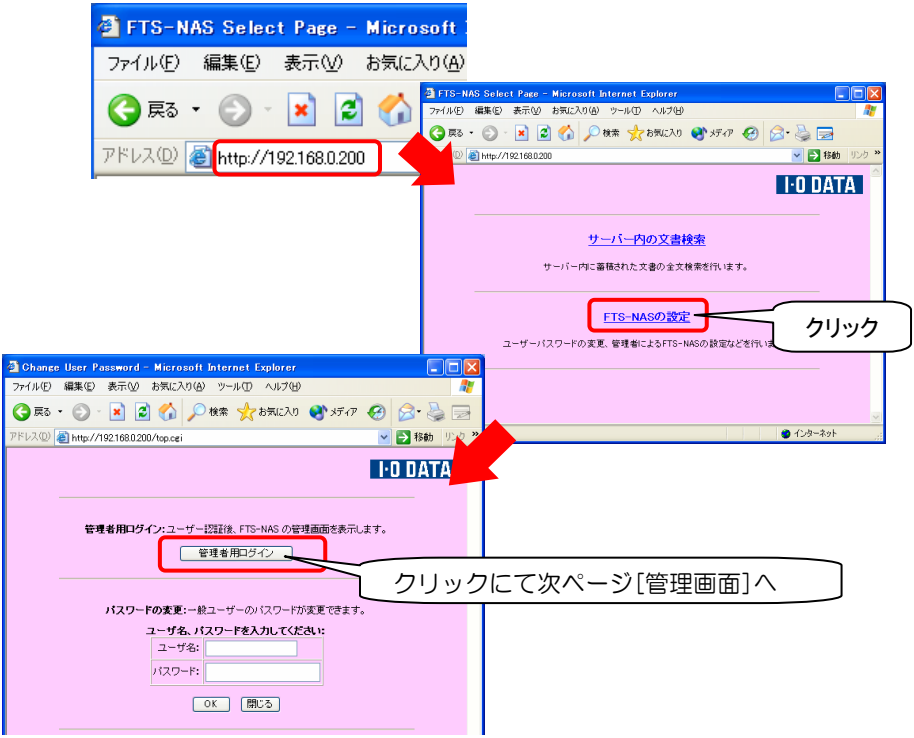
Add on 設定

検索 103
ウィルスチェック 105

初期画面

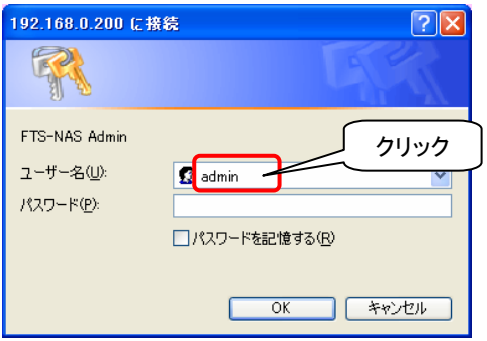
詳細設定画面を起動して、本製品の詳細な設定ができます。
※動作させる上で必須となるブラウザは、Internet Explorer 6.0以降です。
JavaScriptはオンにしてご利用ください。

1 Webブラウザを起動して、設定されたIPアドレスを入力します。（出荷時設定のIPアドレスでの例です。）
http://192.168.0.200
[FTS-NASの設定]をクリックします。
→初期画面が開きます。

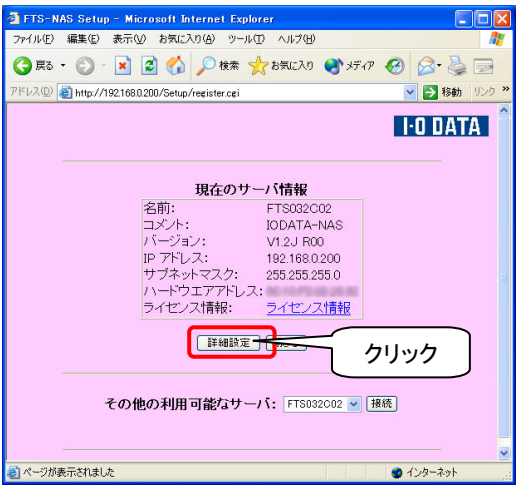


初期画面では、admin、guest以外の一般ユーザのパスワード変更と管理画面のページへログインが行えます。一般ユーザはこの画面から登録されている正しいユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンを押すとパスワード変更画面が表示されます。
[管理者用ログイン]ボタンを押すと、詳細な設定が行えます。

1 ユーザー名に「admin」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。パスワードを設定した場合は、パスワードを入力します。（出荷時設定では、パスワードは設定されていませんので、パスワードは入力しません。）



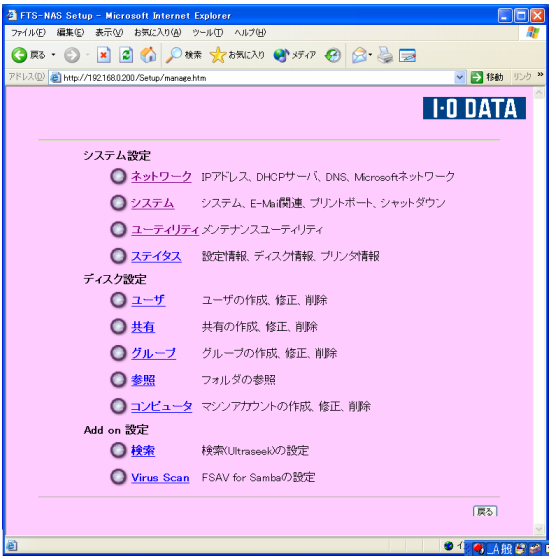
2 [詳細設定]ボタンをクリックします。



※クラス範囲の同一ネットワーク内に他の「FTS-NASシリーズ」がある場合は、その名前が「その他の利用可能なサーバ」に表示されます。
サーバ名を選んで接続ボタンを押すと他のサーバ名の設定画面へ移動します。

※ライセンス情報をクリックすると、この製品で使用されているソフトウェアのライセンス一覧が表示されます。

詳細設定画面



● **システム設定**
ネットワーク、システム、ユーティリティ、ステイタスについて設定ができます。

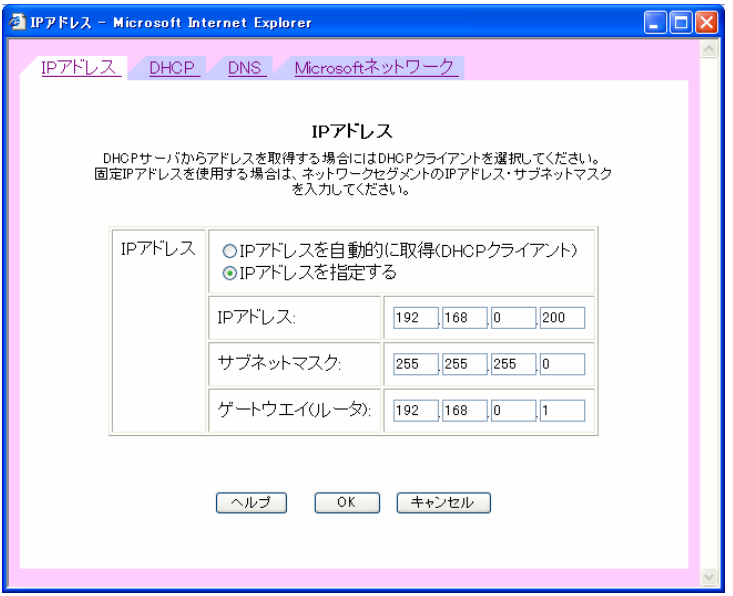
● **ディスク設定**
ユーザ、共有、グループ、参照、コンピュータの設定ができます。

● **Add on 設定**
検索とウィルススキャンの設定ができます。

各設定項目で利用可能な文字は【使用文字制限について】（121ページ）を参照してください。

システム設定

ネットワーク – IPアドレス設定

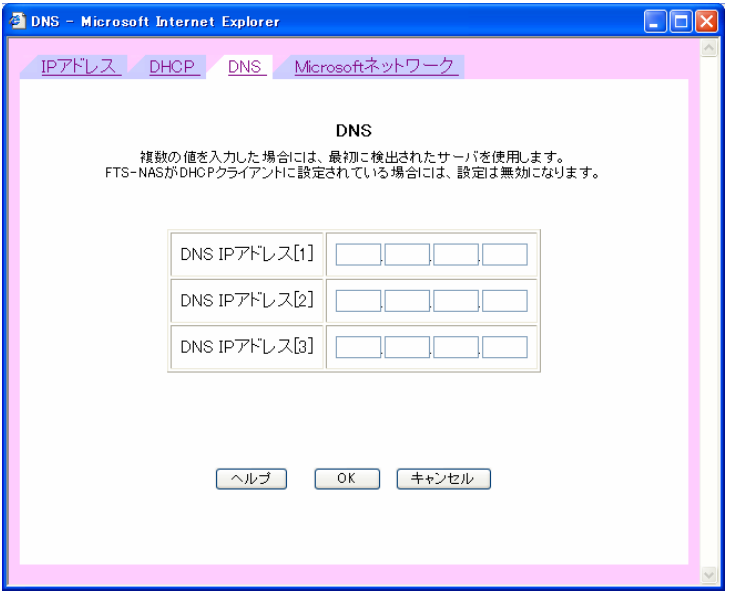


この画面では、本製品が動作するマシンに固定IPアドレス、もしくは動的IPアドレス（DHCPクライアント機能）を設定することができます。
DHCPサーバが同一ネットワーク内にある環境で、「IPアドレスを自動的に取得」を選び、「OK」ボタンを押すことによって、DHCPクライアントの設定が行えます。
（DHCPで取得したIPアドレスの情報は、ネットワークコンピュータから参照することができ、共有フォルダ内のIPDATA.txtファイルにIPアドレスの情報が書かれています。）
「IPアドレスを指定する」を選択し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどの情報を入力し「OK」ボタンを押すことによって、固定IPアドレスの設定ができます。
（固定IPアドレスの設定の場合、ゲートウェイの入力は省略することができます。）

ネットワーク – DHCP サーバ設定

この画面では、本製品が持つDHCPサーバ機能の設定を行うことができます。
「DHCPサーバを有効にする」を選択し、「OK」ボタンを押すことによってDHCPサーバ機能を有効にすることができます。
割り当てられるIPアドレスは、IPアドレスの上位24ビットが本製品のIPと同じで下位8ビットの範囲は1-254までです。例えば、本製品のIPアドレスが192.168.0.2の場合、DHCPサーバ機能として割り当てられるのは192.168.0.3-192.168.0.254までとなります。
(DHCPサーバとして機能する範囲に本製品自身のIPアドレスを含めることはできません。)
開始アドレスと終了アドレスには、DHCPクライアントに割り当てたいアドレスの範囲を入力します。

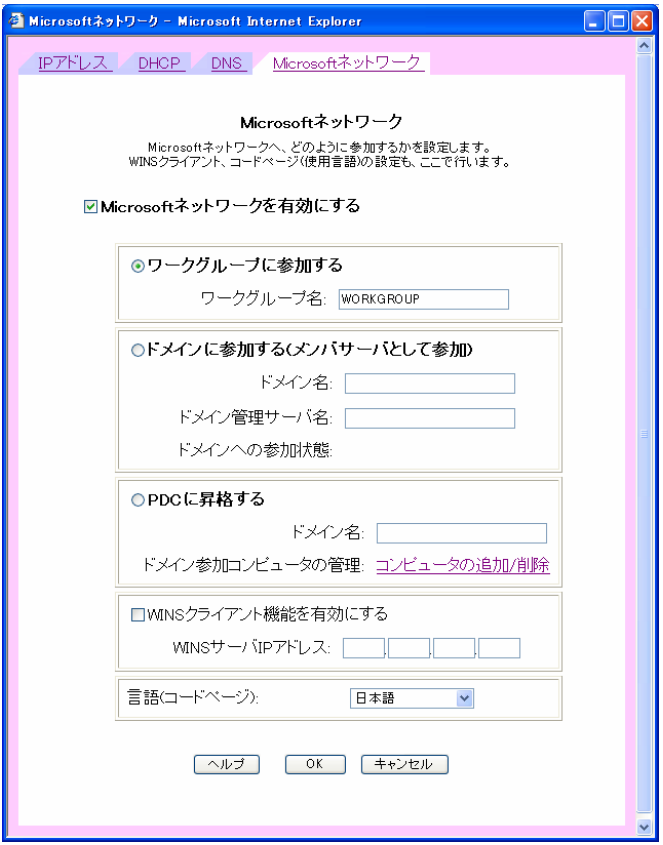
ネットワーク - DNS 設定



この画面では、本製品が参照するDNSサーバの設定を行うことができます。
参照するDNSサーバのIPアドレスは3つまで入力できます。1番目のDNSサーバのアドレスが利用できない場合、2番目のDNSサーバが利用されます。2番目のDNSサーバも利用できない場合には3番目のDNSサーバが利用されます。
本製品をDHCPサーバとして動作させる場合は、このDNS設定がDHCPクライアントに伝えられます。

メール送信機能を利用するためには、DNSの設定を行う必要があります。

ネットワーク - Microsoft ネットワーク



この画面では、本製品がワークグループやドメインへ参加する場合の設定、PDC(プライマリドメインコントローラ)として動作させる設定、WINSクライアント機能の設定、Microsoftネットワーク機能で使用する言語の設定ができます。
また、Microsoftネットワーク機能を無効にすることもできます。
「Microsoftネットワークを有効にする」チェックボックスで、Microsoftネットワーク機能のON/OFFができます。MicrosoftネットワークがOFFの場合は、Windows共有の機能が使えません。
「Microsoftネットワークを有効にする」チェックボックスがONの場合、次の3つのラジオボタンのいずれかを選択する必要があります。

- 「ワークグループに参加する」ラジオボタン
- 「ドメインに参加する」ラジオボタン
- 「PDC に昇格する」ラジオボタン

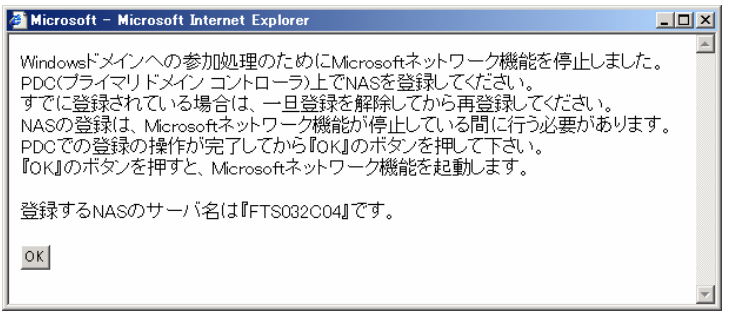
・「ワークグループに参加する」ラジオボタン

このラジオボタンを選択すると、任意のワークグループに参加することができます。

参加先のワークグループ名を入力する必要があります。

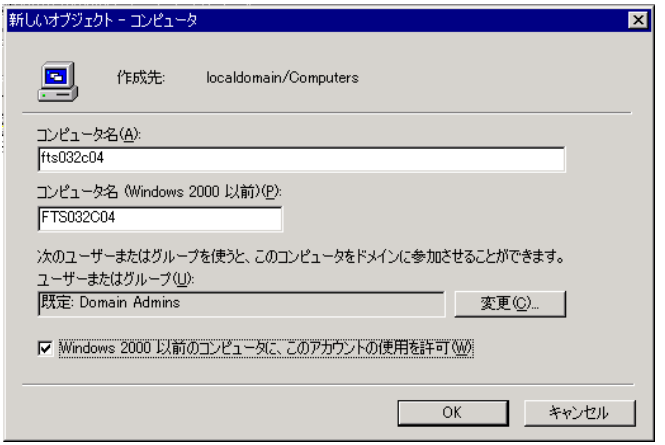
・「ドメインに参加する」ラジオボタン

このラジオボタンを選択すると、他のPDC(プライマリドメインコントローラ=ドメイン管理サーバ)が管理するドメインに参加することができます。
参加先のドメイン名とドメイン管理サーバ(PDC)名を入力し、「OK」ボタンをクリックすると、以下の画面に遷移します。



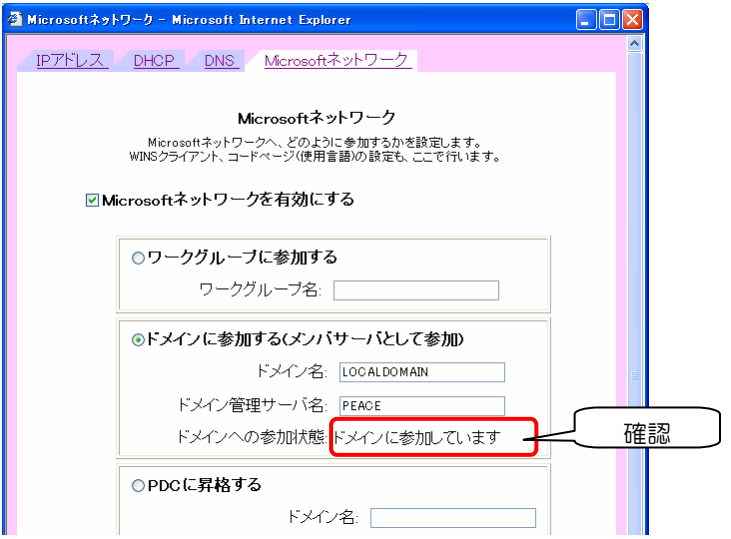
ドメインに参加する場合は、ここでPDCの管理画面(Windows 2000 Serverなら「Active Directory ユーザとコンピュータ」、Windows NT 4.0なら「サーバマネージャ」)から、コンピュータアカウントに本製品のコンピュータ名(上記画像のケースでは「FTS032C04」)を追加する必要があります。

Windows 2000 Server、2003 Serverの場合、「新しいオブジェクトーコンピュータ」ダイアログボックスでは、「Windows 2000 以前のコンピュータに、このアカウントの使用を許可(W)」にはチェックを付ける必要があります。



「OK」ボタンを押すと、参加が正常に終了したかどうかを確認する画面が表示されます。
正常に参加できた場合は、以下の画面に遷移します。

また、ドメイン参加中の参加状態のステイタスは、以下の画面のように、「ドメインへの参加状態」の右に表示されます。



ドメイン参加後は、ネットワークコンピュータから、
　ユーザ名　　ドメイン名_NTユーザ名
　パスワード　　NTユーザのパスワード
で本製品へログイン可能になります。
ドメイン名とユーザ名の間に「_ (アンダースコア)」をはさむ必要があります。

・「PDCに昇格する」ラジオボタン

このラジオボタンを選択すると、本製品をPDCとして動作させることができます。
本製品をPDCとして動作させることで、本製品上に登録されているユーザ名とパスワードで、「ドメイン名」に入力された名前のドメインに各パソコンからログオンすることができます。つまり、本製品でWindowsネットワークのユーザ名、パスワードなどのユーザ情報をを集中管理できます。

「ドメイン名」テキストボックスには、自身が管理すべきドメインの名前を入力します。

ドメインに参加可能なOSとしては、Windows NT Workstation、Windows 2000 Pro、Windows XP Proがあります。
Windowsのドメインへの参加方法については、各OSの解説書を参照してください。
ここでは、FTS-NASをPDCとして利用する際の注意点について説明します。

クライアントからドメインに参加する際に、ユーザ名とパスワードが求められますが、この認証ダイアログに対しては、ユーザ名「root」を入力する必要があります。パスワードは本製品のユーザadminのパスワードと同一のものを入力してください。

Windows XP Pro では、Windows 2000の認証方法と比較して、セキュリティが強化されたため、そのままでは本製品のドメインに参加することはできません。
Windows XP Proで本製品のドメインに参加するためには、レジストリ値を変更する必要があります。
具体的には、以下のレジストリに対して、RequireSignOrSealを追加して、DWORD:0x0という値を設定することにより、本製品のドメインに参加することができるようになります。 レジストリパスは以下の通りです。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥netlogon¥paramaters

・WINSクライアント機能

WINSクライアント機能を使用するには「WINSを有効にする」チェックボックスをONにします。

このチェックボックスがONの場合、参照するWINSサーバのIPアドレスを入力する必要があります。

・コードページ設定

ファイル名やフォルダ名で使用する言語の設定は、「言語(コードページ)」コンボボックスで設定します。

言語を変更する場合、コンボボックスから、使用する言語を選択します。

出荷時の言語設定は、「日本語」です。

日本語以外の言語設定はサポート対象外です。

システム － システム

この画面では、本製品のサーバ名(コンピュータ名)や時刻の設定などを行うことができます。

● **サーバ名**

現在のサーバ名を表示し、設定を変更することができます。

出荷時設定で表示されるサーバ名は 'FTS' + <ハードウエアID> です。

本製品が「Network － Microsoftネットワーク設定」のページで正常にドメインに参加しているときに、サーバ名を変更すると、PDC上のコンピュータアカウント(本製品のマシンのもの)を再作成する操作が必要になるため、その旨を伝える画面に遷移します。

● **コメント**

Microsoft共有の際にサーバのコメント情報として表示される値を変更することができます。出荷時は IODATA-NAS です。

● 日付

現在本製品に設定されている日付を表示し、設定を変更することができます。

● 時間

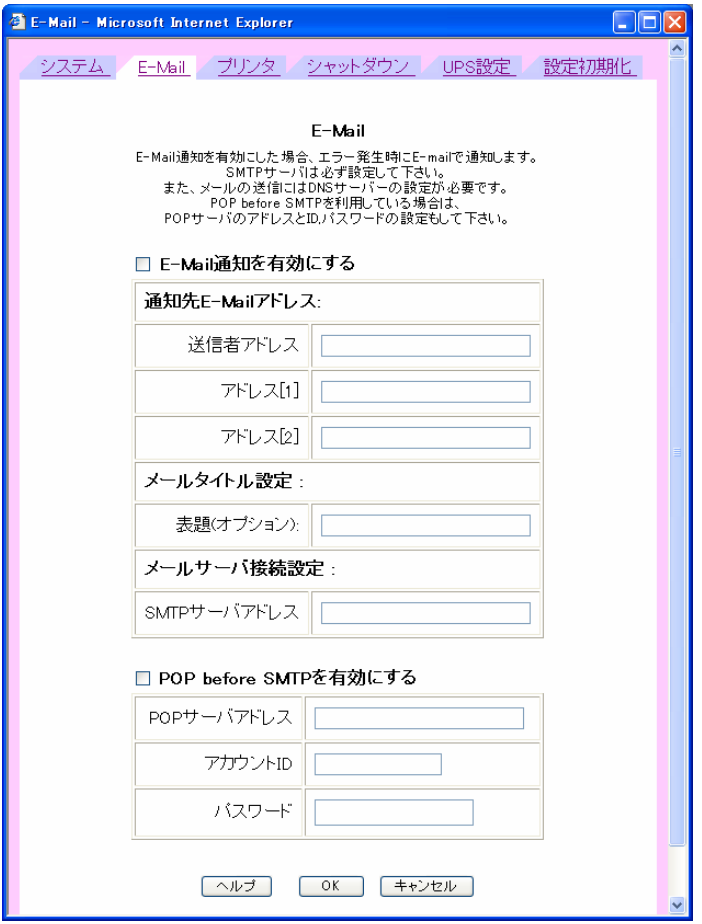
現在本製品に設定されている時刻を表示し、設定を変更することができます。
12時間制で表示され、PM/AMも表示されます。

参考

●「日付」か「時間」のどちらかのブラウザで表示された値を変更して、「OK」ボタンを押したときのみ変更します。表示を変更しなかった場合は、「OK」ボタンを押しても設定は変更しません。

● 5分以上時間を戻すと、「グラフ表示」がリセットされます。

システム – Email



この画面では、システムで利用するメール関係の設定を行うことができます。
「E-Mail通知を有効にする」のチェックをいれると、休止時と起動時と、ディスク容量が98%を超過した場合、メール送信します。
チェックがOFFの場合、メールは送信されません。

このチェックがONになっていて本製品がネットワークに接続されていない場合や、メールサーバが動作していない場合、メール送信時に接続を試みるため2分ほどのタイムアウトの時間がかかります。例えば、起動時/停止時にメールを送るので、このケースでは起動/停止が2分ほど遅くなります。

● 送信者 E-Mail アドレス

送信者のアドレスを指定します。

● アドレス「1」～「2」

E-Mail通知をする先のアドレスを指定します。アドレス1-2までの2個所まで
メール送信をすることができます。

● 表題

E-Mail送信時のSubjectヘッダに追加されるメールの件名を設定することができます。

● SMTP サーバアドレス

メール送信時に利用されるSMTP(Simple Mail Transfer Protocol)を利用できるサーバのアドレスを入力します。

mail.iodata.jp

のようなドメイン名でメールサーバを指定する場合はDNSが有効になっていないと送信できません。

● POP before SMTP を有効にする

メール送信サーバがSMTPサーバでメール送信をする前にPOP認証を行い、メール受信をしておかないとメールが送信できないサーバの場合、このチェックを有効にします。

「POP before SMTPを有効にする」のチェックが有効になっていない場合、SMTPサーバでのメール送信の前にPOPサーバの認証を行なわず、以下の「POPサーバアドレス」と「ID」と「パスワード」は利用されません。

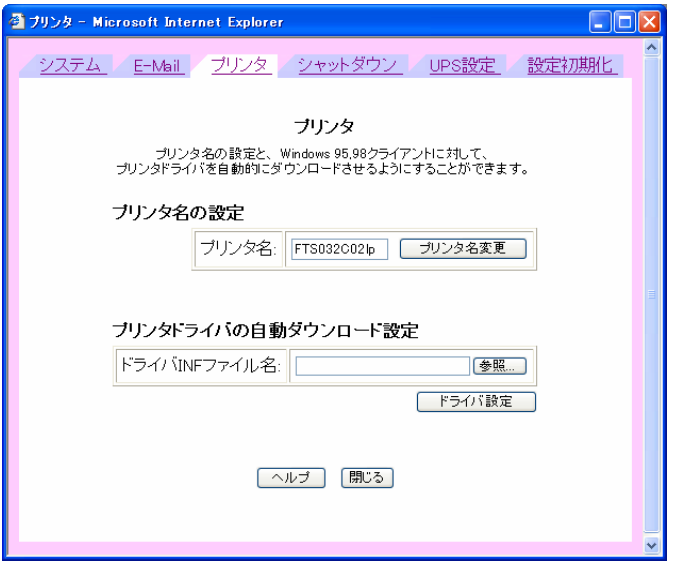
● POP サーバアドレス

POPサーバのアドレスを指定します。

● ID、パスワード

POPサーバに対するID、パスワードを指定します。

システム － プリンタ



この画面では、本製品にローカル接続されたプリンタの設定と、プリンタドライバの自動ダウンロード設定を行うことができます。

● **プリンタ名**

Microsoft共有から利用されるプリンタ名を表示、変更することができます。
デフォルト値は 'FTS' + <ハードウエアID> + 'lp' です。
※プリンタの設定方法については、【UPS/プリンタの設置と運用】（118ページ）を参照してください。

● **ドライバ INF ファイル名**

Windows 95/98クライアントが共有プリンタを参照したときに自動的にドライバをダウンロードできるようにします。Windows向けのプリンタドライバを展開した中にある.infファイルを指定します。Infファイルを指定してボタンを押すと、プリンタリストを表示します。さらにボタンを押すと、本製品でのプリンタドライバ設定とインストールのためのinstall.batを共有フォルダに作成します。Install.batは全てのwindowsドライバファイルを同一のディレクトリに入れ、実行することによって本製品へドライバをコピーするものです。
（しかしながら、プリンタドライバによって、ファイル構造等がまちまちなため、完全にコピーできずに失敗するものもあります。その場合は手動でファイルを共有の「driver」フォルダにコピーする必要があります。）

システム － シャットダウン

● **タイマ**

シャットダウン（停止）/再起動を実行するまでの時間を指定します。
「0分後」の状態で[実行]ボタンを押すと、すぐに実行します。

● **シャットダウンスケジュール**

平日（月曜～金曜）、土曜、日曜ごとに規定の時刻に定期的にシャットダウン/リブートを行うことができます。

● **動作/時間**

動作では、「なし」「シャットダウン」「リブート」のいずれかを選び、
時刻を入力し、「AM」「PM」のいずれかを選んで「スケジュール保存」ボタンを押します。
「なし」では、何も設定されておらず動作を行ないません。また「なし」を選んだ場合は、時刻の設定が 0：00AM にリセットされます。
「シャットダウン」の場合は、指定の時間にシステム停止を行います。
「リブート」の場合は指定の時間に再起動を行います。
平日、土曜、日曜ごとに既定の時刻に定期的にシステム停止/再起動を行うことができます。

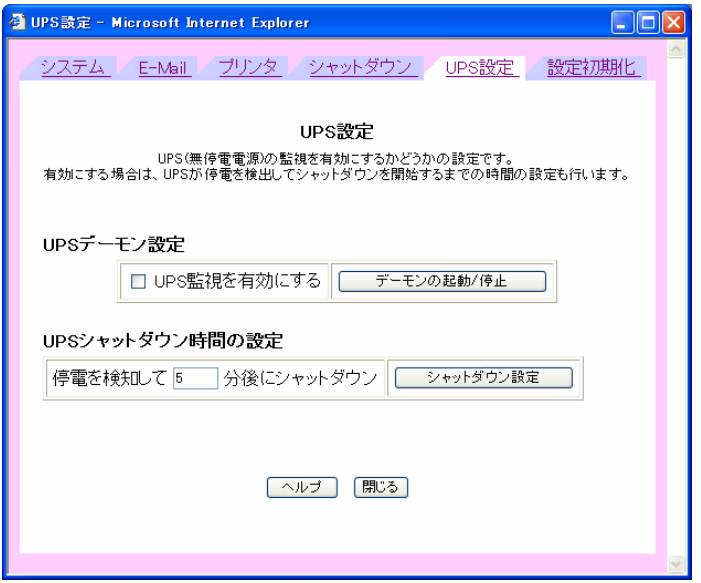
● **指定時間後にリブート/シャットダウン**

前述の「シャットダウンスケジュール」では、毎日もしくは毎週のスケジュールを設定はできますが、こちらの設定では1回のみ、今から**分後という指定でシャットダウン/リブートさせることができます。

「なし」「シャットダウン」「リブート」の中から動作を選んで、シャットダウンまでの時刻を整数で入力し、「タイマ開始」ボタンを押します。

直ちにシャットダウン/リブートを行う場合は、0分を指定してシャットダウン/リブートを行います。

システム － UPS 設定



この画面では、本製品のシリアルポートに接続されたUPS(無停電電源装置)の設定を行うことができます。（対応は三菱製FREQUPSシリーズのみとなります。）

● **UPS デーモン設定**

UPSの動作状況を監視するかどうかを選択します。チェックボックスをチェックしてボタンを押せばUPS監視プログラムの起動/停止をさせることができます。

出荷時設定では、UPS監視プログラムは起動しないようになっています。

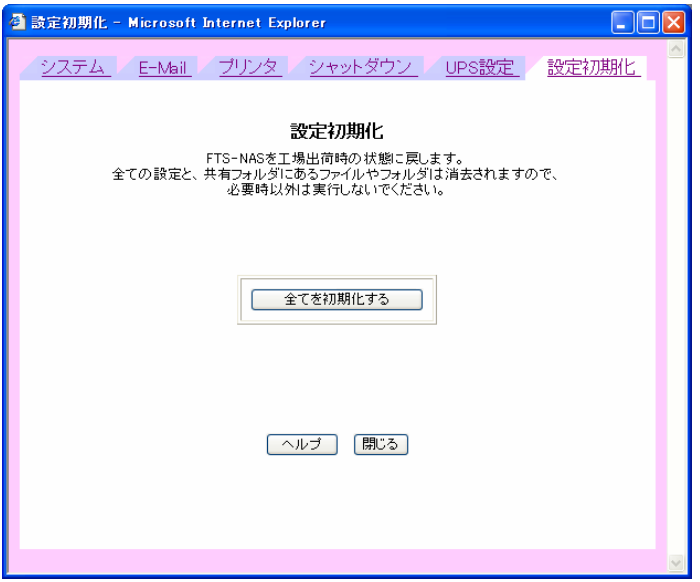
また、UPSが接続されていない場合は起動設定になっていてもUPS監視プログラムは起動されません。

● **UPS シャットダウン時間の設定**

UPS監視プログラムを用いて、停電時に本製品を自動シャットダウンさせることができるまでの時間を設定します。出荷時設定は5分です。この設定にはUPS側のディップスイッチが正しく設定されている必要があります。正しく設定されていない場合は、自動シャットダウン機能は正常に働きません。

ディップスイッチの設定方法はUPS付属のマニュアルを確認してください。

システム － 設定初期化

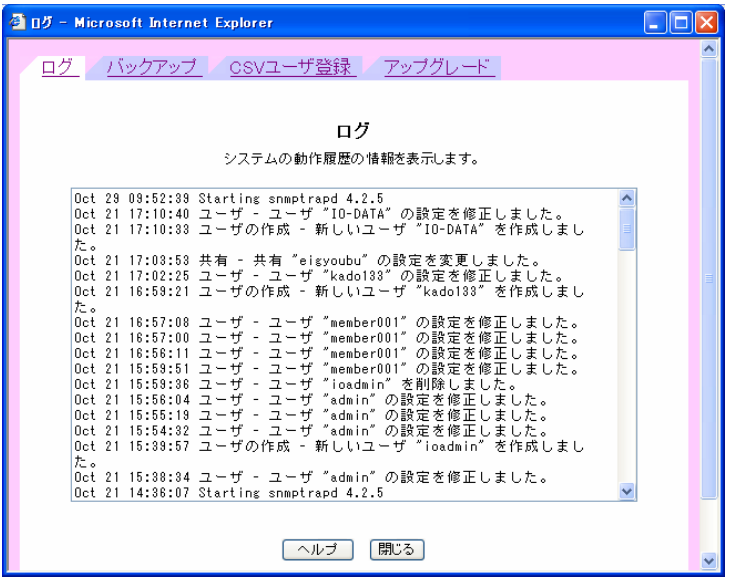


この画面では、本製品の全ての設定や、共有ファイル、フォルダを初期化できます。緊急時などの必要時以外は実行しないでください。

● 全てを初期化する

本製品の設定等を全て工場出荷時に戻し、/share以下の共有フォルダ等も全て消去して初期状態に戻してしまいます。共有領域を全て消してしまうので実行時には注意が必要です。

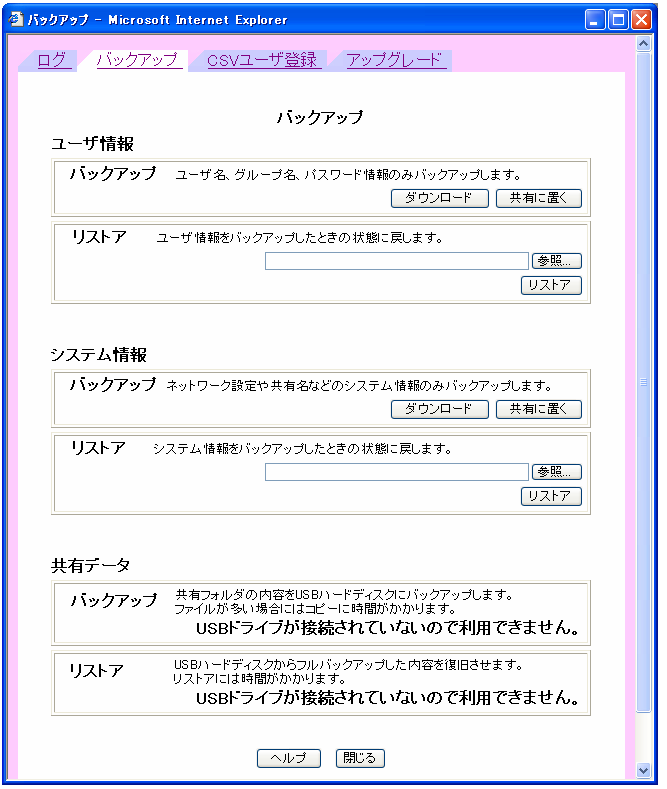
ユーティリティ - ログ



この画面では、本製品のシステムに関するログを表示します。

最大表示行数は100行です。

ユーティリティ － バックアップ



この画面では、各種バックアップの設定を行うことができます。

● **ユーザ情報バックアップ**

ユーザのパスワード、グループ設定等のバックアップを行います。

● **ユーザ情報リストア**

ユーザ情報バックアップでバックアップしたファイルから、ユーザ情報ファイルを元に戻します。ファイル名はFTS-NAS_user_<日時を示す数字>.tar.gzである必要があります。

● システム情報バックアップ

システム設定の情報をバックアップします。

● システム情報リストア

システム情報バックアップでバックアップしたファイルから、システム情報ファイルを元に戻します。ファイル名はFTS-NAS_system_<日時を示す数字>.tar.gzである必要があります。

● 共有データバックアップ

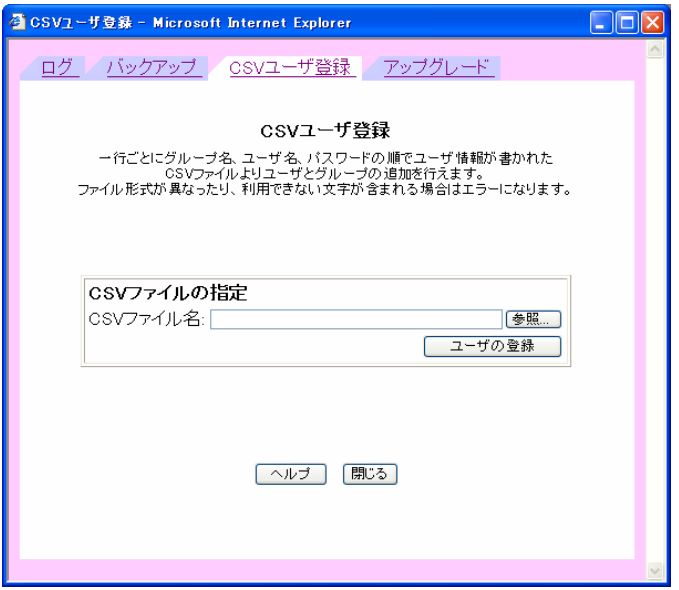
本製品の共有フォルダに保存された内容を、USBハードディスクにバックアップします。USBハードディスクが接続されていない場合は、バックアップボタンは表示されません。

> USBハードディスクには必要なバックアップ容量の1.1倍の容量がなければ実行できません。また、USBハードディスクの全ての領域を専用フォーマットとして自動的にフォーマットします。接続したUSBハードディスクは消去されますので、注意してください。

● 共有データリストア

バックアップ機能を用いてバックアップされたファイルから/shareの下の共有フォルダを元の状態に戻します。書き戻す際に、NAS側の共有のファイルは削除されますので作業中は途中でリストアを止めないでください。

ユーティリティ – CSV ユーザ登録



この画面では、CSVファイルによる一括ユーザ登録を行うことができます。
Microsoft Excelで作成したCSVファイルで、下記の形式で書かれた拡張子.csvのファイルを用意してください。

グループ名1,ユーザ名1,パスワード1
グループ名2,ユーザ名2,パスワード2
グループ名3,ユーザ名3,パスワード3
（以下同様の行が続く）

登録できるグループ名、ユーザ名、パスワードは、【使用文字制限について】（121ページ）を参照してください。

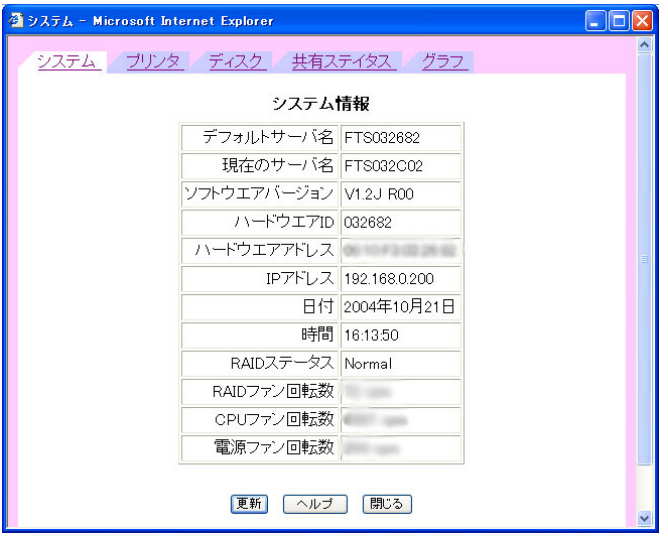
ユーティリティ － アップグレード

この画面では、本製品のソフトウェアのアップデートができます。

共有ディレクトリにある、nas_upgradeにアップデートファイルを置くと、
アップグレード可能なファイルの一覧がリストアップされます。
リストアップされたもののうち、インストールしたい項目にチェックを入れてアップグレードボタンを押すとソフトウェアのアップグレードができます。

「アップグレード」ボタンを押してしばらく経過すると、各ファイルのアップロード結果(成功/失敗)が画面に表示されます。

ステイタス － システム



● **デフォルトサーバ名**

出荷時にデフォルトで設定されているサーバ名を表示します。命名は、'FTS'+<ハードウエアID> で、他のサーバと重複しないようになっています。この設定の表示は変えることはできません。

● **サーバ名**

現在設定されているサーバ名です。Windows共有から参照されるときのサーバ名として使われます。「システム － システム」のページの「サーバ名」の項目で設定を変えることができます。

● **ソフトウェアバージョン**

現在の本製品ソフトウェアのバージョンです。

● **ハードウェア ID**

ネットワークカードのMACアドレスの下6桁を取得して、製品毎に重複しないハードウェアIDとしています。

● ハードウェアアドレス

ネットワークカードのMACアドレスの値です。（変更不可）

● IP アドレス

現在本製品に設定されているIPアドレスです。
この項目の変更は、「ネットワーク － IPアドレス」の日付の項目で設定できます。

● 日付

現在本製品に設定されている日付です。
この項目の変更は、「システム － システム」の日付の項目で設定できます。

● RAID ステータス

RAIDのユニットの状況を表示します。

● RAID ファン回転数

RAIDファンの回転数を表示します。

● CPU ファン回転数

CPUファンの回転数を表示します。

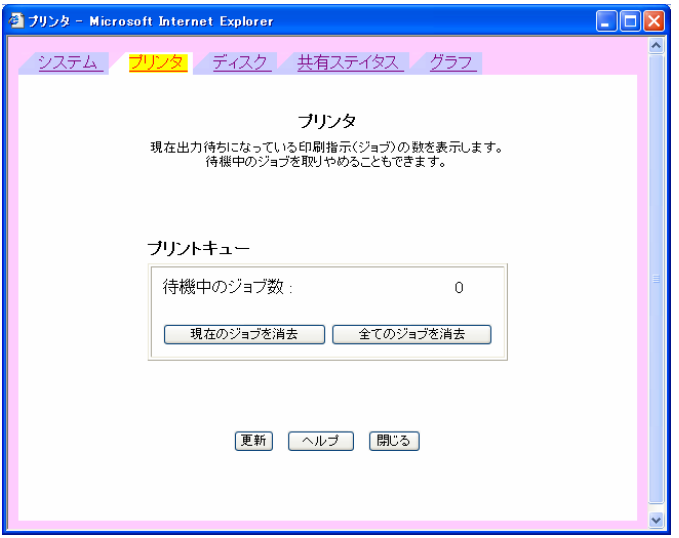
● 電源ファン回転数

電源ファンの回転数を表示します。

● 更新

このボタンを押すと、現在表示している内容を更新します。

ステイタス － プリンタ



● **プリンタジョブ数**

本製品のパラレルポートに接続したプリンタの、未印刷のプリンタジョブの数を表示します。プリンタトラブル等でジョブを削除したい場合は「現在のジョブを削除」ならびに「全てのジョブを削除」ボタンで削除できます。

● **現在のジョブを削除**

現在印刷待ちをしているジョブのうち、先頭のジョブ1つのみ削除します。
プリンタのジョブ数が1つ減少します。

● **全てのジョブを削除**

現在印刷待ちをしている全てのジョブを削除します。
プリンタのジョブ数は0になります。

● **更新**

このボタンを押すと、現在表示している内容を更新します。

ステイタス － ディスク

● **ハードディスクのタイプ**

この項目では、ハードディスクメーカーの型番が表示されます

● **HDD 情報 － サイズ**

ハードウェア上でのハードディスクの全容量を表示します。

● **HDD 情報 － シリンダ、ヘッド、セクタ**

ハードウェア上でのハードディスクのシリンダ数、ヘッド数、セクタ数を表示します。

● **ディスク容量 － 全容量**

ソフトウェア上でのハードディスクの全容量を表示します。
ディスク上のブロック数を示しているので、正確に1ブロック=1MBではなく実際のサイズとは誤差があります。

● **ディスク容量 － 使用領域、空き容量**

ソフトウェア上でのハードディスクの使用領域/空き容量を表示します。
※ディスク上のブロック数をもとに計算しているため、合計はディスクの全容量と一致しないことがあります。

ステイタス － 共有ステイタス

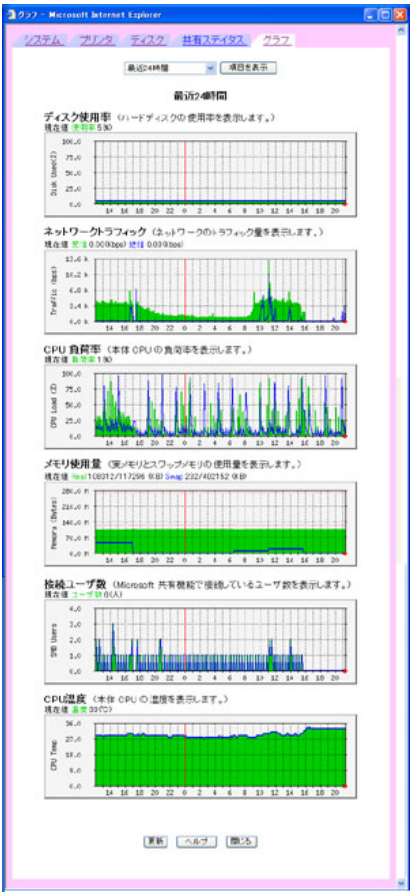
この画面では、現在の共有機能のステイタスを表示します。

共有に接続しているマシンと、共有で利用しているファイル(ロックされているファイルのみ。例として共有フォルダにあるExcelファイルを直接開いて作業している場合等)のステイタス一覧が表示されます。

「更新」ボタンを押すと現在の状態に表示を更新します。

- Service：　クライアントが利用しているサービス名が表示されます。$IPCは認証がされている状態を、それ以外は利用している共有ディレクトリ名が表示されます
- uid：　クライアントが利用しているユーザ名が表示されます。
- id：　クライアントが利用しているグループ名が表示されます。
- machine：　クライアントが利用しているコンピュータ名が表示されます。

ステイタス － グラフ



はじめの画面に表示されるのは、最近24時間の状態を５分間隔のグラフで表したものです。以下の６つの項目があります。

・ディスク使用率

ハードディスクの使用率を表示します。ディスク残量が少なくなると、全文検索インデックスの作成や、ファイル共有で十分な機能ができなくなることがあります。使用容量が増えてきたら、ファイルの整理やサーバの分割を検討してください。

・ネットワークトラフィック

FTS-NASで送受信されたネットワークの情報量を表示します。受信量が緑、送信量が青で表示されます。送受信ともに飽和状態にある場合は、１台のサーバで処理できる限界に達している可能性があります。そのような場合は、１台あたりのユーザ数を減らしたり、サーバを分割するなどの検討を行ってください。

・CPU 負荷率

本体 CPU の負荷率を表示します。緑が１分平均、青が５分平均の値を示します。負荷状況は絶対的な数値ではないため、現在の状況の数値は100を越えることがあります。

・メモリ使用量
　実メモリとスワップメモリの使用量を表示します。実メモリ量は緑で、スワップメモリは青い線で表示されます。

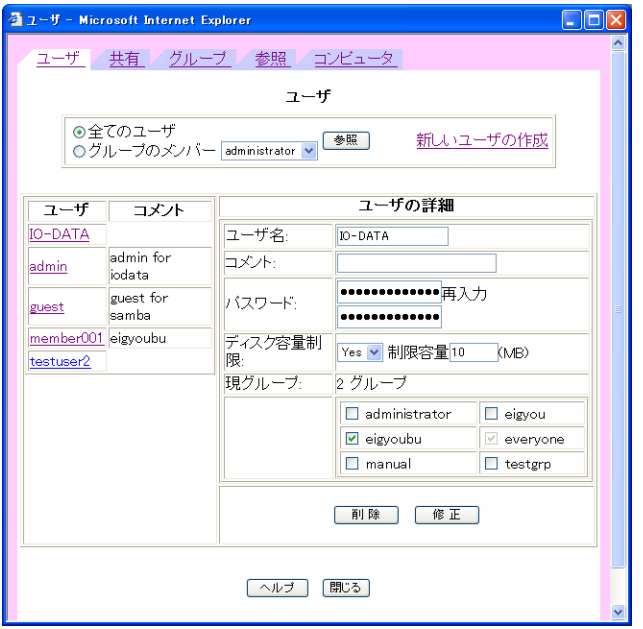
・接続ユーザ数
　Microsoft 共有機能で接続しているユーザ数を表示します。

・CPU温度
　本体 CPU の温度を表示します。

グラフメニューの一番上のセレクトボックスを選択すると、それぞれの項目の日次、週次、月次、年次グラフを表示することができます。

ディスク設定

ディスク設定 － ユーザ



ここではユーザ名の一覧と、ユーザの詳細情報を表示することができます。

「全てのユーザ」もしくは、「グループのメンバー」のどちらかを選び、「グループのメンバー」を選んだ場合グループ名も選択し、「参照」ボタンをクリックすることで、表示を切替えることができます。

画面右上の「新しいユーザの作成」をクリックすると、新しいユーザの作成ページに移動します。

画面左のユーザ名一覧の中でリンクになっているユーザ名をクリックすると、右側の欄に、詳細情報を表示します。また、ここから「修正」ボタンを押すことによって情報を更新することができます。
利用するパソコンで、Windowsにログオンする際のユーザ名とパスワードと同じものを設定します。

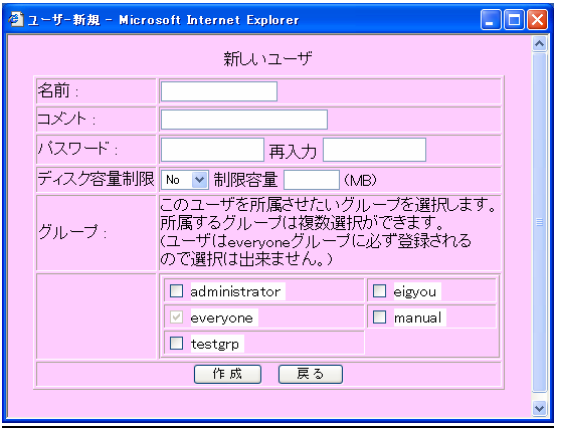
表示されるのは、ユーザ名と、ユーザのコメント、パスワード、容量制限、所属するグループの情報です。

ユーザを削除する場合は、削除したいユーザ名をクリックし、「削除」ボタンを押します。
ユーザadminとguestは削除することができません。

ユーザ名を変更する場合は、変更したいユーザ名をクリックし、「修正」ボタンを押します。
ユーザadminとguestの名前は変更することができません。

また、システムで事前に予約されているユーザ名(root、daemonなど)は登録も変更もできません。

ユーザの新規作成画面

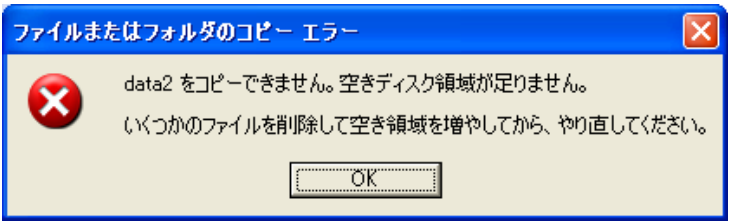


●「名前」
新しく作成するユーザ名を入力します。
※入力文字は【使用文字制限について】（121ページ）を参照。
※システムで予約されているユーザ名(admin、guest、root、daemonなど)で新規ユーザを作成することはできません。

●「コメント」
ユーザに対するコメントを入力します。
※入力文字は【使用文字制限について】（121ページ）を参照。

●「パスワード」
ユーザのパスワードを入力※します。
確認のために、2箇所同じパスワードを入力する必要があります。
※入力文字は【使用文字制限について】（121ページ）を参照。

●「ディスク容量制限」
ユーザごとに、利用可能なディスク容量を制限することができます。
容量制限をする場合、「yes」「no」のうち「yes」を選択し、MB単位で制限する容量を整数で入力することで設定ができます。
※複数のフォルダに書き込んだ総量となります。
制限を越えて書き込みを行おうとすると以下のエラー画面が表示されます。



●「グループ」
所属させたいグループにチェックをいれます。複数選択が可能です。
「作成」ボタンを押すと、ユーザ名等のチェックが行われ、問題が無ければユーザが作成されます。

「戻る」ボタンを押すと、「ディスク設定 - ユーザ」のページに戻ることができます。

ディスク設定 － 共有

ここでは共有名の一覧と、共有の詳細情報を表示することができます。

「全ての共有」もしくは、「グループに属していない共有」のどちらかを選び、「参照」ボタンをクリックすることで、表示を切替えることができます。

右上の「新しい共有の作成」をクリックすると、新しい共有の作成ページを表示します。

左の列の共有名の一覧の中のリンクになっている共有名をクリックすると、右側の欄に詳細情報を表示します。また、「修正」ボタンを押すことによって情報を更新することができます。

表示されるのは、共有名と、共有のコメント、共有のパス、アクセス権限、所属するグループです。

共有を削除する場合は、削除したい共有名をクリックし、「削除」ボタンを押すことで削除できます。
共有名を変更する場合は、変更したい共有名をクリックし、「修正」ボタンを押すことで変更できます。
(一度作成した共有のパスを変更することはできません。)

HDD1、public、pdfprint、nas_upgrade、driverなどの本製品で予約されている共有名に変更することはできません。また、これらの共有を削除することはできません。

NTドメインに参加している場合は、ドメインのPDCに登録してあるグループが、コンボボックスから選択できます。
新しいグループを選んだ場合は、新規グループを作成し、共有はそのグループの所有となります。

共有の新規作成画面

●「名前」、「コメント」
共有名、共有についてのコメントを入力します。

●「パス」
共有のトップフォルダからのパスを入力します。

●「グループ」
新しいグループ、既存のグループ、グループなし、ドメインのグループの中から選び、必要事項を記入します。ドメインのグループが所有する共有を作れるのは、ドメインに正常に参加しているときのみです。
everyoneを選択すると、誰でもアクセスできる共有フォルダを作成されます。
グループなしを選択すると、所有者のいない共有フォルダが作成されます。この共有フォルダにアクセスするには、所有者（グループ）を後で設定する必要があります。

●「アクセス権限」
アクセスを許可したグループに対して、読み書きの許可/拒否を設定します。
ここでは、「Read only」か「Read-Write」のどちらかを選びます。
Read onlyだとファイルの読み込みしかできません。Read-writeだとファイルの読み込み、書き込み、削除ができます。
HDD1、public、pdfprint、nas_upgrade、driverなどの本製品で予約されている共有名は作成することができません。
「戻る」ボタンを押すと、ディスク設定 - 共有の画面に戻ります。

ディスク設定 - グループ

ここではグループ名の一覧と、グループ情報の詳細を表示、設定することができます。

「全てのグループ」もしくは、「共有の無いグループ」のどちらかを選び、「参照」ボタンをクリックすることで表示を切替えることができます。

右上の「新しいグループの作成」をクリックすると、新しいグループの作成ページを表示します。

左の列のグループ名の一覧の中のリンクになっているグループ名をクリックすると、右側の詳細情報の表示欄に情報を表示します。また、ここから「修正」ボタンを押すことによって情報を更新することができます。

表示されるのは、グループ名と所属している共有の数、所属している共有、とグループのメンバー数と、グループのメンバー名です。

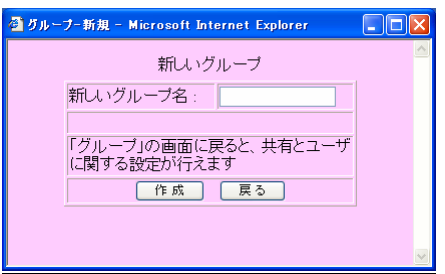
管理画面

ユーザ名横のチェックボックスで、グループのメンバを変更することができます。
なお、全てのユーザはeveryoneグループに所属しており、それを変更することはできません。

グループを削除する場合は、削除したいグループ名をクリックし「削除」ボタンを押すことで削除できます。
なお、everyone、administratorグループの削除はできません。

グループ名を変更する場合は、変更したいグループ名をクリックし「修正」ボタンを押すことで変更できます。
なお、administrator、everyoneのグループ名については、変更することはできません。
また、システムで予約されているグループ名（root、daemonなど）に変更することはできません。

グループの新規作成画面



ここでは、新しいグループ名を入力して、「作成」ボタンを押すと新たにグループを作成できます。

グループeveryone、administratorは作成できません。
また、システムで予約されているグループ名（root、daemonなど）は追加できません。

「戻る」ボタンを押すと、「ディスクの設定 - グループ」の画面に戻ることができます。

ディスク設定 － 参照

「参照」のページでは、共有フォルダやプリンタスプールの情報を参照し、ファイルやフォルダの名前の変更/削除をすることができます。
参照ページを開いたときに表示されているのは/(ルート)のフォルダです。共有ページ画面でのパスとは異なります。

一例をあげると
　/share　　参照画面でのルートパス
　/share/HDD1　　共有画面でのルートパス
ですので、共有画面で表示される/publicというフォルダは、/share/HDD1/publicというフォルダになります。参照ページで表示されるフォルダでは/HDD1/publicのパスとなります。

フォルダの形をして↑が上を向いているアイコンを押すと、一つ上のパスを参照できます。例えば、現在/HDD1/publicのフォルダを見ていた場合このアイコンを押すことによって、/HDD1の内容を表示します。
このアイコンを押すたびに上の階層へあがっていけます。

上記のアイコンの右隣りにあるリンクは、現在いるフォルダの階層を示しています。階層ごとに ＜ の記号で区切っており、それぞれの階層へのリンクを押すことによって、指定された階層へ移動することができます。

●「名前」
フォルダやファイル名。このリンクを押すことによって、数字、大文字英字、小文字英字の順に並べ替えます。

●「種類」
フォルダ、共有フォルダ、ファイルの区別。このリンクを押すことによって、共有フォルダ、フォルダ、ファイルの順に並べ替えます。

●「共有名」
共有フォルダであればその名前を表示します。この列には、共有フォルダでない場合はなにも表示されません。このリンクを押すことによって、共有されているフォルダを優先して、名前順に並び替えます。
(この列には共有名が表示されるが、その共有名をクリックすると、「ディスク設定-共有」の画面へ飛び、その共有の詳細を表示することができます。)

●「所有者」
ファイルの所有者を表示します。(フォルダの所有者は表示されません。)
このリンクを押すことによって、ユーザに所有されているファイルを優先して、名前順に並べ替えます。

●「サイズ」
ファイルサイズやフォルダサイズを表示します。フォルダサイズの表示はフォルダ内のファイルサイズの総計ではなく、全て4KBと表示されます。このリンクを押すことによって、サイズの小さな順に並べ替えます。

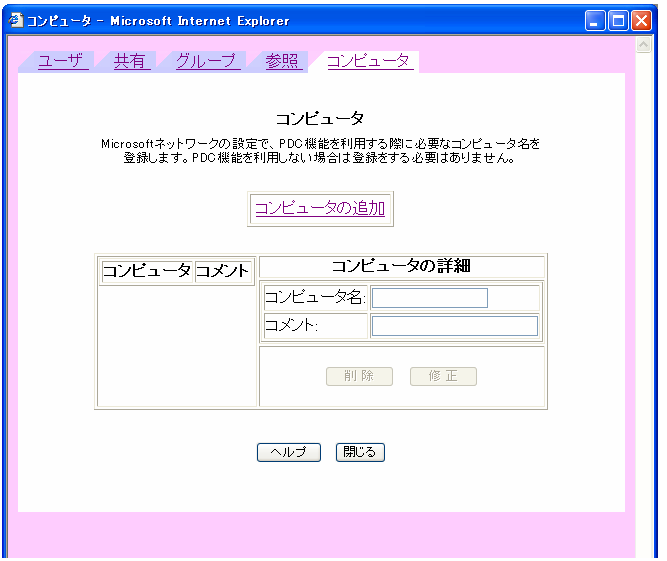
●「更新日」
ファイルやフォルダの作成/更新をされた日を表示します。このリンクを押すことによって、ファイルやフォルダを更新日の古い順に並べ替えます。

●「名前の変更」
ファイルやフォルダ名を変更します。(共有名HDD1と、spool、public、pdfprint、nas_upgrade、driverの名前は変更できません。)

●「削除」
ファイルやフォルダを削除します。(共有名HDD1と、spool、public、pdfprint、nas_upgrade、driverは削除できません。)

●一番左のフォルダの形のアイコンかフォルダ名のリンクをクリックすると、指定されたフォルダの下の階層が表示されます。

ディスク設定 － コンピュータ



ここでは、本製品をPDCとして動作させる際に、ドメインに参加するコンピュータアカウントの一覧を表示、設定することができます。

右上の「新しいコンピュータの作成」をクリックすると、新しいコンピュータの作成画面に移動します。

左の列のコンピュータ名の一覧の中のリンクになっているコンピュータ名をクリックすると、右側の詳細情報の表示欄に情報を表示します。また、ここから「修正」ボタンを押すことによって情報を更新することができます。

表示されるのは、コンピュータ名と、そのコンピュータの説明です。

コンピュータを削除する場合は、削除したいコンピュータ名をクリックし「削除」ボタンを押すことで削除できます。

コンピュータ名を変更する場合は、変更したいコンピュータ名をクリックし「修正」ボタンを押すことで変更できます。

管理画面

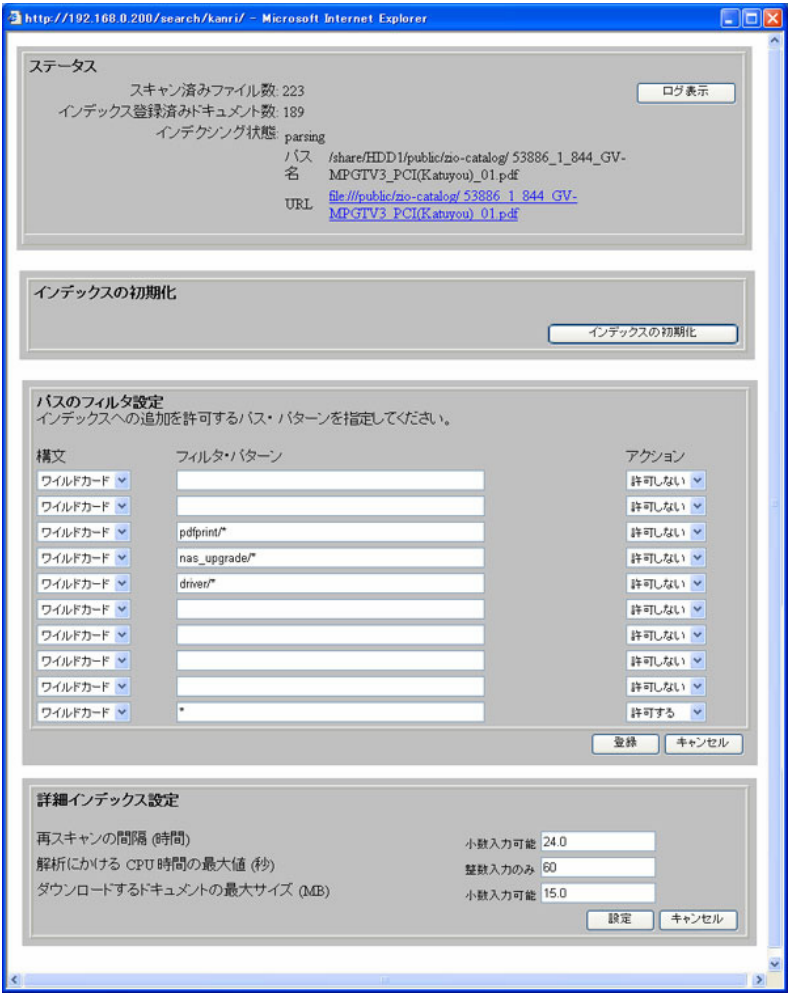
コンピュータの新規作成画面

ここでは、新しいコンピュータ名を入力して、「作成」ボタンを押すと新たにコンピュータを作成できます。
ここで作成するコンピュータ名とドメインクライアントになるコンピュータ名を同一にしておく必要があります。

「戻る」ボタンを押すと、「ディスク設定 - コンピュータ」の画面に戻ることができます。

Add on 設定

検索



共有内全文検索用の設定画面が表示されます。
インデックス初期化、インデックスを作成する際に許可しないパターンの指定が行えます。

●ステータス

インデックスの作成状態を表示します。
「スキャン済みファイル数」は、インデックスを構築するためのスキャンが完了したファイル数を表示します。
「インデックス登録済みドキュメント数」は、スキャンを行ったファイルのうち、インデックスの作成に成功したファイル数を表示します。
「インデクシング状態」は、インデックス作成時の処理中の内容を表示します。
〝アイドル中〟とひょうじされる場合は、動作は停止しています。
「ログ」ボタンで、検索経過を確認することができます。

●インデックスの初期化

蓄積されたインデックスの消去と再インデックス化の作業を行います。大量の文書を追加・削除を行った場合に実施してください。実行するとシステムに大きな負担がかかりますので、ネットワーク経由の利用者の少ない時間に実行するようにしてください。

●パスのフィルタ設定

インデックスを作成すると、ファイルや共有へのアクセス権限と無関係に検索結果の画面からファイル内容の一部を見ることができます。重要なファイルで、このように見えてしまう事が不都合である場合は、フィルタを設定することで検索対象から除外することができます。除外フィルタは、ワイルドカードもしくは正規表現で設定が可能です。

●詳細インデックス設定

「再スキャンの間隔」は、インデックスの更新を行うタイミングを設定します。設定は1時間単位で小数入力も可能です。
「解析にかける CPU 時間の最大値」は、１つのドキュメントについてのインデックス作成時間に制限を設けるものです。秒数で設定し整数入力のみ可能です。
「ダウンロードするドキュメントの最大サイズ」は、インデックス作成する場合のドキュメントサイズに制限を設けます。単位はMBで、小数入力も可能です。

ウィルスチェック

ウィルスチェックソフトウェア、「FSAV for Samba」が起動します。

注意！

本製品に含まれる「FSAV for Samba」は体験版です。起動開始から30日間有効な体験版ライセンスが付属しています。

体験版ライセンスでご利用されている、「FSAV for Samba」についてのお問い合わせは、**弊社ならびに「FSAV for Samba」開発元の日本ラッドおよびウィルススキャンエンジンの開発元の日本エフセキュアのいずれでもサポート対象外です。**

「FSAV for Samba」のライセンス購入方法などについては、【使用しているソフトウェアについて】(123ページ)を参照してください。

※設定方法などの詳細は、RAD社のホームページの「FSAV for Samba」 のマニュアルを参照してください。

マニュアルの参照方法は、【FSAV for Samba マニュアル参照方法】(48ページ)をご覧ください。

MEMO

その他

出荷時設定に戻す
パスワードを忘れてしまったときなどに、本製品の設定を出荷時設定に戻します。（初期化） ☞ 108ページ

ブザー音について
ブザー音の意味について説明します。 ☞ 109ページ

動作状態と対処
LEDの表示の意味について説明します。 ☞ 111ページ

UPS/プリンタの設置と運用
UPSとプリンタの設置と運用方法について説明します。 ☞ 118ページ

使用文字制限について
管理画面に入力する際の文字制限について説明します。 ☞ 121ページ

使用しているソフトウェアについて
使用しているソフトウェアについて説明します。 ☞ 123ページ

困った時には
本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。 ☞ 133ページ

用語解説
用語について説明します。 ☞ 137ページ

仕様
本製品の仕様です。 ☞ 141ページ

アフターサービス
本製品の問い合わせ先、修理先です。 ☞ 142ページ

出荷時設定に戻す

本製品のIPアドレスを忘れてしまったときなどに、本製品を出荷時設定に戻します。

●液晶メニュー画面で戻す

IPアドレスと管理者用パスワードのみを出荷時設定に戻します。

1 **メニュー画面を起動し、[UP/DOWN]ボタンで[3. System Clear]を選択し、[SEL]ボタンを押します。**

```
1. System STOP
2. System REBOOT
3. System Clear
  UP  DOWN  SEL BACK
```

2 **[CLEAR]ボタンを押します。**
[BACK]ボタンで前の画面に戻ります。

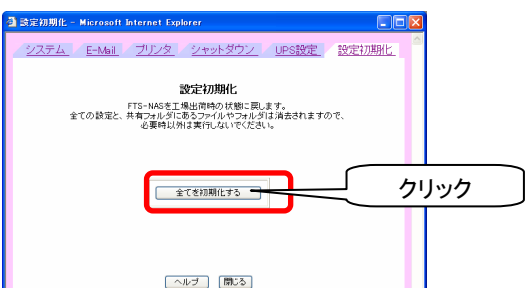
```
Note: Do You Clear
  Admin password
  and IP Address?
       CLEAR  BACK
```

●管理画面で戻す

注意！

以下の手順を行うと、本製品の設定等を全て工場出荷時に戻し、/share以下の共有フォルダ等も全て消去して初期状態に戻してしまいます。共有領域を全て消してしまいますので実行時には注意が必要です。

1 **ブラウザで詳細設定メニューを起動し、[システム]→[設定初期化]で[全てを初期化する]ボタンをクリックします。**
【システム - 設定初期化】（78ページ）を参照。



ブザー音について

電源投入時、および動作中に障害が発生した時にブザー音で警告します。
動作中にブザーが鳴りつづけている場合は、ブザー音を確認して適切な対処を行ってください。
※対処は【動作状態と対処】（111ページ）を参照してください。

参考

ブザー音を停止するには…

ブザー音、LED表示を確認して、故障と思われる方のHDDユニットのRAID鍵穴に鍵を差し込んでロックをオフ後オンすれば止まります。

●システム起動（ドレミファソラシド）

本製品が正しい設定で起動した時に鳴ります。

●システム設定変更（ドドソソララソ）

本製品の設定が変わった次のような時に鳴ります。

・メインドライブが切り換わった。
・リビルドが完了した。

●HDD追加（ピポ！）

本製品にHDDが追加されたと判断した時になります。
リビルドが自動的に開始されます。

参考

リビルドとは…

１台のディスクからもう一方にデータをコピーして、同期化を行う修復作業のことです。

●HDD1 未接続／故障（ピーッ、ピーッ、ピーッ、ピーッ、・・・・）

HDD1が接続されていない、または故障した時に警告音が鳴りつづけます。

●HDD2 未接続／故障（ピピッ、ピピッ、ピピッ、ピピッ、・・・・）

HDD2が接続されていない、または故障した時に警告音が鳴りつづけます。

●HDDエラー発生

（ピポ！、ピーッ、ピーッ、ピーッ、ピーッ、・・・・ →HDD1）

（ピポ！、ピピッ、ピピッ、ピピッ、ピピッ、・・・・ →HDD2）

本製品に接続されるHDDが使用不可と判断した次のような時に警告音が鳴りつづけます。

・本製品に接続したHDDが現在動作中の転送モードに設定できなかった。

・本製品に接続したHDDが現在動作中のRAIDディスク容量より小さい。

●メインHDDエラー発生

（ピューン、ピューン、ピーッ、ピューン、ピューン、ピーッ・・・・ →HDD1）

（ピューン、ピューン、ピピッ、ピューン、ピューン、ピピッ、・・・・ →HDD2）

本製品がメインHDDのみで稼動している時、またはリビルド中にメインHDDにエラーが発生した時に、警告音が鳴りつづけます。

●システム停止エラー（ピーポーピーポーピーポーピーポー……）

本製品がRAID ディスクとして動作できない時に警告音が鳴り続けます。（HDDが１台も接続されていない場合など）

●メインHDD不明エラー（ピピポポ、ピピポポ、ピピポポ、ピピポポ・・・・）

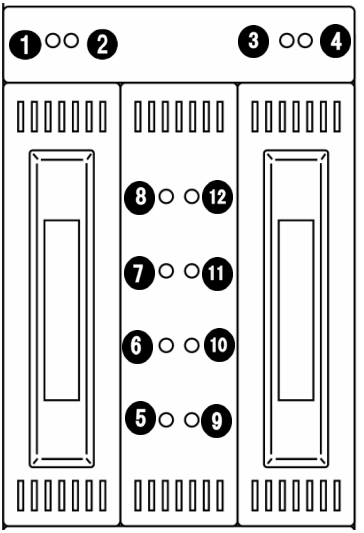
新しいHDDのみ接続して起動した時などメインHDDが特定できない時に警告音が鳴りつづけます。

メインHDD、ミラーHDDについて

メインとは読み出し先のハードディスクを指します。
メイン側にエラーが発生した場合は、メインHDDとミラーHDDとを自動的に切り替えます。
動作中においては、メインとミラーを意識することなくご利用いただけます。

動作状態と対処

本製品は、LEDランプの表示状態（点灯・消灯・点滅）の組み合わせにより、
現在の動作状態を表示します。



No.	名称	機能
1	HDD1 LED	HDD1およびHDD2のLED(赤・緑)は、それぞれのHDDの状態を表します。 (消灯)・・・HDD未接続の状態 (緑)・・・正常に動作している状態 (赤)・・・異常がある状態
3	HDD2 LED	
2	アクセス LED	HDD1およびHDD2に読み込み・書き込みが発生したときに、点灯します。 アクセスがない場合は、消灯します。
4		
5 ～ 8	ステータス1 LED	HDD1およびHDD2 LEDの表示状態と組み合わせて、さらに詳しい現在の状態を表示します。
9 ～ 12	ステータス2 LED	

<LED表示の組み合わせと対処一覧表>

状態	システム状態名	HDD1 LED	HDD2 LED	対処
通常	正常動作中	緑点灯	緑点灯	
リビルド	HDD1→HDD2 リビルド中	緑点灯	緑点滅	
	HDD2→HDD1 リビルド中	緑点滅	緑点灯	
エラー	HDD1未接続／故障	消灯	緑点灯	対処1 114 ページ
	HDD2未接続／故障	緑点灯	消灯	
	HDDエラー発生（HDD1ミラーHDDエラー）	赤点滅	緑点灯	
	HDDエラー発生（HDD2ミラーHDDエラー）	緑点灯	赤点滅	
	メインHDDエラー（HDD1メインHDDエラー、リビルド停止）	赤点滅	赤点灯	対処2 115 ページ
	メインHDDエラー（HDD2メインHDDエラー、リビルド停止）	赤点灯	赤点滅	
	メインHDDエラー（HDD1メインHDDエラー[シングル]）	赤点滅	消灯	
	メインHDDエラー（HDD1メインHDDエラー[シングル]）	消灯	赤点滅	
システム停止エラー	システム停止（HDD1、HDD2未接続）	消灯	消灯	対処3 116 ページ
	システム停止（HDD1メインHDDエラー、リビルド停止）	消灯	赤点灯	
	システム停止（HDD2メインHDDエラー、リビルド停止）	赤点灯	消灯	
	メインHDD不明（HDD1、HDD2メインHDD検出ミス）	緑点滅	緑点滅	対処4 116 ページ
	メインHDD不明（HDD1リビルド中メインHDD検出ミス）	消灯	緑点滅	
	メインHDD不明（HDD2リビルド中メインHDD検出ミス）	緑点滅	消灯	

〈ステータスとブザー音一覧表〉

状態	システム状態名	ステータス LED1	ステータス LED2	ブザー音
通常	正常動作中	往復	往復	なし
リビルド	HDD1→HDD2 リビルド中	点灯パターン1		なし
	HDD2→HDD1 リビルド中	点灯パターン1		なし
エラー	HDD1未接続／故障	消灯	往復	ピーッ、ピーッ、…
	HDD2未接続／故障	往復	消灯	ピピッ、ピピッ、…
	HDDエラー発生（HDD1ミラーHDDエラー）	全点滅	往復	ピポッ、ピーッ、ピーッ、
	HDDエラー発生（HDD2ミラーHDDエラー）	往復	全点滅	ピポッ、ピピッ、ピピッ、…
	メインHDDエラー（HDD1メインHDDエラー、リビルド停止）	全点滅	全点滅	ピーッ、ピーッ、…
	メインHDDエラー（HDD2メインHDDエラー、リビルド停止）	全点滅	全点滅	ピピッ、ピピッ、…
	メインHDDエラー（HDD1メインHDDエラー[シングル]）	全点滅	消灯	ピッ、ピッ、ピーッ、…
	メインHDDエラー（HDD1メインHDDエラー[シングル]）	消灯	全点滅	ピッ、ピッ、ピピッ、…
システム停止エラー	システム停止（HDD1、HDD2未接続）	全点滅	全点滅	ピーポー
	システム停止（HDD1メインHDDエラー、リビルド停止）	全点滅	全点滅	ピーポー、…
	システム停止（HDD2メインHDDエラー、リビルド停止）	全点滅	全点滅	
	メインHDD不明（HDD1、HDD2メインHDD検出ミス）	全点滅	全点滅	ピピポポ、ピピポポ、…
	メインHDD不明（HDD1リビルド中メインHDD検出ミス）	全点滅	全点滅	
	メインHDD不明（HDD2リビルド中メインHDD検出ミス）	全点滅	全点滅	

点灯パターン1：　リビルド進行に応じて点灯LEDが増えます。
（点灯LED1つ増えるごとに12.5%リビルドの完了を示します。）
また、点滅速度が高速の場合、前半部分リビルドを示し、1秒に一回点滅の場合は後半リビルド中を示します

対処1（HDDに障害が発生した場合の対処）	
状態	ブザーが鳴り、HDD1 LEDが緑点灯し、かつHDD2 LEDが消灯もしくは赤点滅している。
	ブザーが鳴り、HDD2 LEDが緑点灯し、かつHDD1 LEDが消灯もしくは赤点滅している。
内容	この状態は、消灯しているもしくは赤点滅しているHDDユニットに障害があります。 HDDユニットが１つ（シングル）の状態での運用となっていますので、早急に障害があるHDDユニットを交換する必要があります。
対処	以下の手順に従い、ブザーの鳴動を停止し、HDDユニットを交換します。 ①ブザーを停止します。 障害のあるHDDユニットのキーロックをいったん解除し（反時計回りに90°）、再びロック位置（時計回りに90°）に戻します。 これでブザーの鳴動は停止します。 ②障害のあるHDDユニットを交換します。 障害のあるHDDユニットのキーロックを解除し（反時計回りに90°）、HDDユニットを取り外します。 別売オプション品のHDDユニット（HDR-XTRAYおよびHDI-Rシリーズ）をその位置へ挿入し、キーロックをロック位置に戻します。 障害のあった側のHDDユニットのLEDが緑点滅し、リビルド処理を自動的に開始します。 ③数十分～数時間後、ブザーが鳴り、障害のあった側のHDDユニットのLEDが緑点灯になったらリビルド処理は完了です。 各パソコンから本製品へのアクセスをおこなってください。

参考

リビルドとは…

1台のディスクからもう一方にデータをコピーして、同期化を行う修復作業のことです。

対処2（メインHDDに障害が発生した場合の対処）	
内容	メインHDDに回復不能なエラーが発生しましたが、切替のためのミラーHDDが未接続、またはリビルド中であったために切り替えられなかった状態です。この場合、HDD内のデータが二重化されていない状態でのエラーとなるため、HDD内のデータは破損している可能性があります。 破損していないデータをバックアップするため以下の対処を行ってください。 **※データが二重化されていない状態でエラーが発生した為、データが破損した可能性があります。次の作業を行っても、全てのデータが補償される訳ではありません。**
対処	①電源を切ります。 （15分以上経過してもPOWERランプが消えない時は、電源スイッチを約5秒押し続けて強制終了します。） ②電源を入れます。 （LEDが赤点灯または消灯している(赤点滅していない)方のHDDが入っている場合はHDDを抜いてください。） ③起動したら障害の発生したHDDよりコピーできる限りのデータを別の外付けHDDなどへバックアップします。 ④エラーの発生した状態のHDD2台とも、修理をご依頼ください。なお、修理の際はHDD内のデータは全て消去されます。

対処3（システム停止エラーの場合の対処）	
内容	本製品がRAIDディスクとして動作できない次のような状況です。
対処	■HDDを接続していない状態で起動した場合 本製品はHDD2台で動作します。かならず2台取り付けてください。HDD1、HDD2がない状態で本製品の電源を入れた場合、ミラーリング状態は解除されます。再度ミラーリング状態にするため、【ミラーリング状態で起動できない場合】を行ってください。 ■ミラーHDDのない状態でメインHDDを取り外した場合 （リビルド中のメインHDDの取り外しなど） 本製品はミラーHDDのない状態でメインHDDを取り外した場合、RAIDディスクとして動作することができません。いったん取り外して、【ミラーリング状態で起動できない場合】を行ってください。

対処4（メインHDD不明の場合の対処）	
内容	メインHDDが判別できない次のような状況です。
対処	■HDDを2台とも新規ドライブを接続した状態で起動した場合 本製品はHDD2台で動作します。かならず2台取り付けてください。HDD1、HDD2がない状態で本製品の電源を入れた場合、ミラーリング状態は解除されます。再度、ミラーリング設定手順を行ってください。【ミラーリング状態で起動できない場合】を行ってください。 ■メインHDDを、新規ドライブに交換した状態で起動した場合 システムの入った正常なミラーHDDをHDD1として、【ミラーリング状態で起動できない場合】を行ってください。

ミラーリング状態で起動できない場合

ミラーリング状態で起動できない場合は、以下の手順でミラーリング状態に復帰してください。

1 ロックキーでHDD1およびHDD2の両方のロックを解除します。

2 本製品の電源を切り、電源ケーブルを抜きます。

3 HDD1のみをロックします。
HDD1をメインにする場合です。HDD1には、システムおよび、データの入ったHDDにしてください。

4 電源ケーブルを挿し、本製品の電源を入れます。
システムの起動のブザー音（ドレミファシラシド）が鳴ります。その後、HDD2未接続のブザー音（ピピッ、ピピッ、・・・・）が鳴ります。

5 HDD2をロックします。
本製品の電源が入っている状態でロックします。正常に認識されると「ピポッ」と鳴って、リビルド（メインHDDの内容をミラーHDDにコピー）を開始します。
（数分間～数時間・・・環境により異なります。）

6 リビルドが終了します。
システム設定変更（ドドソソララソ）のブザーが鳴ります。

UPS/プリンタの設置と運用

UPS(無停電電源装置)とプリンタの接続方法と使い方について説明します。

UPS(無停電電源装置)の使い方

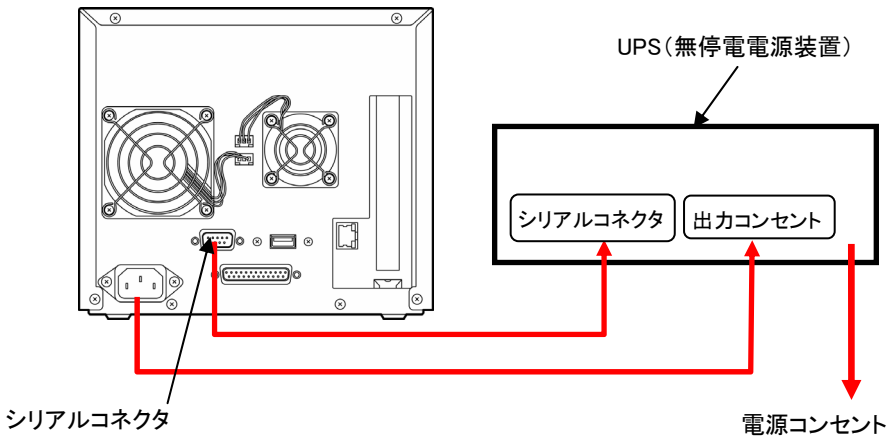
注意！

本製品で使用可能なUPSは三菱電機製FREQUPSシリーズのみです。

1 本製品のシルアルコネクタと、UPS側のシリアル（RS232C）コネクタをシリアルケーブルで接続します。
※シリアルケーブルは本製品には添付されておりません。

2 電源ケーブルを本製品のAC電源に差込み、UPSの出力コンセントに接続します。

3 UPSの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。

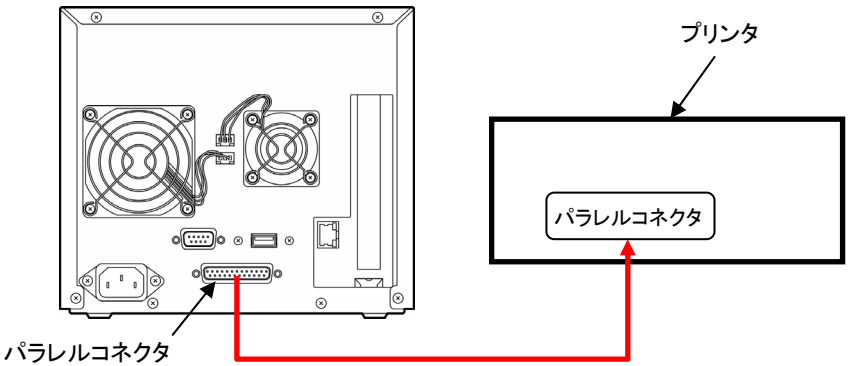


4 管理画面でUPSの設定をします。
設定方法は、【システム － UPS設定】77ページを参照してください。

詳しいUPSの使用方法は、UPS側の取扱説明書を参照してください。

プリンタの使い方

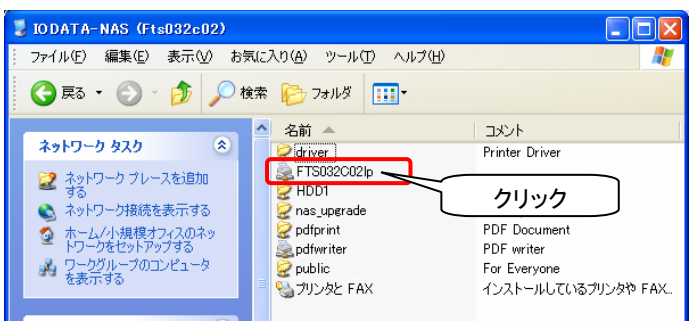
1 本製品のパラレルコネクタと、プリンタ側のパラレルコネクタをプリンタケーブルで接続します。



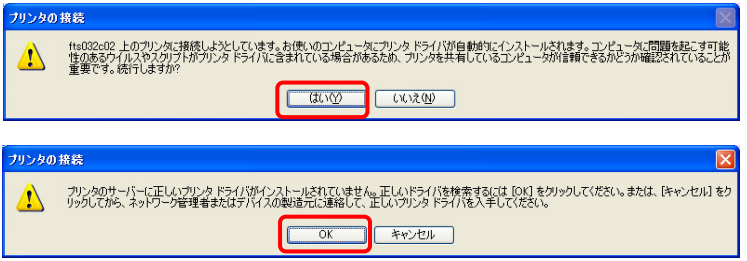
以降の画面はWindows XPの場合の例です。

2 本製品にアクセスします。
アクセス方法は、【アクセスする】27ページを参照してください。

3 [FTS032C02lp]をダブルクリックします。

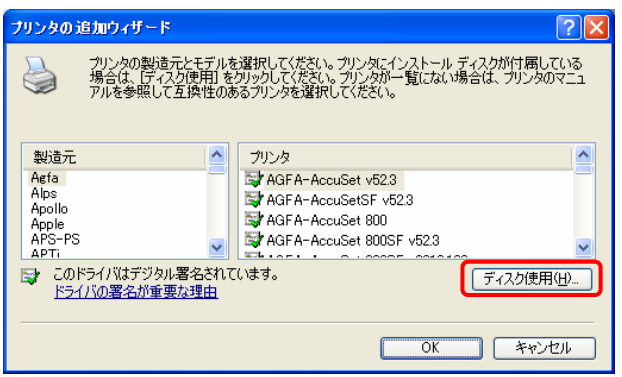


4 以下の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。



5 以下の画面にて。お使いのプリンタのドライバを選択して、[OK]ボタンをクリックし、画面の指示に従ってドライバをインストールします。

お使いのプリンタがない場合は、[ディスク使用]ボタンをクリックして、お手持ちのドライバをインストールしてください。



以上で接続したプリンタに印刷できます。

使用文字制限について

管理画面の入力を行う際の、文字制限（使用文字と桁数）についての一覧表です。

画面	項目	桁数	空白	説明	使用可記号
認証画面	ユーザ名	15	×	ユーザ名はアルファベットから始める。	－
	パスワード	14	○	英数字空白のみ。空白だけも可。	なし
パスワード変更画面	パスワード	14	○	英数字空白のみ。空白だけも可。	なし
ネットワーク	ワークグループ	15	×		_ , －
	ドメイン名	15	×		－
	ドメイン管理サーバ	15	×	英数字から始める必要あり。 数字のみは不可。	－
システム（システム）	サーバ名	15	×	英数字から始める必要あり。 数字のみは不可。	_ , －
	コメント	47	○	英数字から始める必要あり。	－
システム（E-Mail）	E-Mailアドレス	35		メールアドレスを正規表現にて入力。	
	表題(オプション)	35	○	なんらかの値を入力する	_ , －
	SMTPサーバアドレス	255	×	ホスト名の入力規則	_ , －
	POPサーバアドレス	255	×	ホスト名の入力規則	_ , －
	アカウントID	64	×	ユーザアカウント	－
	パスワード	64	○	ユーザパスワード	全て
システム（プリンタ）	プリンタ名	12	×	英数字から始める必要あり。	－
ディスク設定（ユーザ変更）	ユーザ名	15	×	ユーザ名はアルファベットから始める	_ , －
	コメント	47	○	空白だけの入力も可	_ , －
	パスワード	14	○	英数字空白のみ。空白だけも可。	なし
	制限容量	7	×	数字のみ許可	なし
ディスク設定（ユーザ新規）	ユーザ名	15	×	ユーザ名はアルファベットから始める	_ , －
	コメント	47	○	空白だけの入力も可。	_ , －
	パスワード	14	○	英数字空白のみ。空白だけも可。	なし
	制限容量	7	×	数字のみ許可	なし
ディスク設定（共有変更）	共有名	12	○	先頭はアルファベットとアンダースコアのみ	_ , －
	コメント	47	○	空白だけの入力も可。	_ , －
	パス			変更不可	
	新規グループ名			新規グループ作成不可。	

画面	項目	桁数	空白	使用できる記号と説明	使用可記号
ディスク設定（共有新規）	共有名	124	○	先頭はアルファベットとアンダースコアのみ	_ , -
	コメント	47	○	空白だけの入力も可。	_ , -
	パス	255	○		_ , -, /
	新規グループ名	16	×	空白のみは不可	-
ディスク設定（グループ変更）	グループ名	16	×		_ , -
ディスク設定（グループ新規）	グループ名	16	×		_ , -

使用しているソフトウェアについて

本製品で使用しているソフトウェアのライセンスや注意事項について以下をお読みください。

●ライセンスについて

この製品は、多くのソフトウェアから構成されており、そのようなソフトウェアの中には、個別のライセンス契約が定められているものがあります。

アドオン製品である「Ultraseek(TM)」ならびに「FSAV for Samba」のライセンスにつきましては、次ページからの内容をお読みください。

本製品には、各種のオープンライセンスのソフトウェアを利用しています。使用ソフトウェアのライセンス一覧とライセンス文書については、製品管理メニューから「ライセンス」項目を選び表示される内容をご確認ください。

製品内部で利用しているソフトウェアのうち、ライセンス条項にソースコードの配布が義務付けられているソフトウェアについては、製品の共有フォルダに格納されていますのでご参照ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアをご利用するにあたっては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートを提供致しません。また、これらのソフトウェアに関するサポートの提供する義務も負いません。あらかじめご了承ください。

全文検索(Ultraseek　NAS限定版)のご利用にあたって

本製品には全文検索エンジン製品である「Ultraseek」のNAS限定版が組み込まれています。NAS限定版では、検索対象が本製品のストレージ内のディレクトリに限定されており、製品版と比較して外部サイトのクローリング機能、詳細設定機能などが限定されています。
全文検索機能をご利用になる前に、下記のライセンスをお読みください。本製品の全文検索機能をご利用になる場合は、下記のライセンスを受諾したことになりますので、ご注意ください。

●検索可能文書数について

本製品に組み込まれたUltraseek NAS限定版は、１万ドキュメントまでの文書をインデックス化して検索することができます。検索ドキュメント数のアップデートは提供されません。

●Ultraseek NAS 限定版のサポートについて

本製品に組み込まれたUltraseek NAS限定版につきましては、(株)日本ベリティならびに国内代理店であるデジタルガレージ(株)は一切のサポートを提供しません。Ultraseek NAS 限定版についてのお問い合わせは、弊社の製品サポート窓口へお問い合わせください。

●Ultraseek ライセンス約款

1. LICENSE

a. Subject to the terms and conditions of this Online License Agreement (the "Agreement"), "I-O DATA DEVICE, INC." grants to You a non-transferable, non-assignable, non-exclusive, limited, personal license, without the right to sublicense, to use on a single server the Software in binary executable form only (the "Software"), and the documentation therefor (collectively the "Product"), solely in conjunction with the permitted use hereunder. This license shall be limited to indexing up to 10,000 (the "Number) documents. The term "Software" includes the Adobe Acrobat Toolkit and related documentation and any upgrades, modified versions, updates, additions, and copies thereof.

b. The Software includes the expat XML Parser Toolkit (the "Expat Module"). The source code for the Expat Module is available under the terms and conditions of the Mozilla Public License Version 1.1 (the "Mozilla License"). The source code for the Expat Module and a copy of the Mozilla License are available on the World Wide Web at http://www.jclark.com/xml/expat.html and http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html

respectively. Any rights You may have in the source code for the Expat Module under the Mozilla License shall not be deemed to be limited or altered by the terms and conditions of this Agreement. Any terms related to the Expat Module herein which differ from the terms of the Mozilla License are offered by "I-O DATA DEVICE, INC." only and not by the developer or any contributor to the Expat Module.

c. You may make one (1) backup copy of the Software, provided such backup copy is not used on any computer. Any copies that you are permitted to make pursuant to this Agreement must contain the same copyright and other proprietary notices that appear on or in the Software.

d. THE PRODUCT MAY NOT BE USED, COPIED, TRANSFERRED, OR MODIFIED EXCEPT AS EXPRESSLY PERMITTED BY THIS AGREEMENT. YOU SHALL NOT: (I) SELL, RENT, SUBLICENSE, DISTRIBUTE, DISCLOSE, PUBLISH, ASSIGN OR OTHERWISE TRANSFER ANY RIGHTS IN THE PRODUCT WITHOUT PRIOR WRITTEN CONSENT; (II) USE THE PRODUCT FOR PROCESSING DATA ON BEHALF OF ANY THIRD PARTY; (III) USE THE PRODUCT FOR ANY TIMESHARING, RENTAL OR SERVICE BUREAU USE; OR (IV) DISCLOSE RESULTS OF ANY BENCHMARK TESTS OF ANY PRODUCT TO ANY THIRD PARTY WITHOUT PRIOR WRITTEN CONSENT. EXCEPT AS EXPRESSLY PERMITTED BY THIS AGREEMENT OR BY APPLICABLE LAW, THE PRODUCT DOES NOT REFER TO SOURCE CODE AND NO LICENSE IS GRANTED WITH RESPECT TO SOURCE CODE OF ANY KIND. "I-O DATA DEVICE, INC." and its suppliers reserve all rights not expressly granted in this Agreement.

2. TITLE; CONFIDENTIALITY; RESTRICTED USE

a. All right, title, and interest (including copyright) in and to the Product shall remain in "I-O DATA DEVICE, INC." and/or its licensors.

b. The Product and the structure, organization, and code of the Software are confidential and proprietary information ("Confidential Information") of "I-O DATA DEVICE, INC." and/or its licensors. You agree to safeguard such Confidential Information with a degree of care commensurate with reasonable standards of industrial security for the protection of trade secrets and proprietary information so that no unauthorized use is made of such information and no disclosure of any part of their contents is made to anyone other than your employees, agents or consultants whose duties reasonably require such disclosure.

You acknowledge that the source code of the Software remains a confidential trade secret of "I-O DATA DEVICE, INC." and/or its licensors. You acknowledge that, except for the limited license rights expressly provided in this Agreement to you, no right, title, or interest to the intellectual property in the Product is provided to You, and that you do not obtain any rights, express or implied, in the Product.

c. Except as expressly permitted herein, You agree not to adapt, translate, or modify the Software. You agree not to decipher, decompile, disassemble, reverse engineer, or otherwise attempt to discover the source code of the Software, or to knowingly allow others to do so, except to the extent applicable laws specifically prohibit such restriction. You also agree not to alter the Number or create license keys that enable the Software, or to knowingly allow others to do so. Title, ownership rights, and intellectual property rights in and to the content accessed through the Software are the property of the applicable content owner and may be protected by applicable copyright or other law. This Agreement grants no rights to such content, and "I-O DATA DEVICE, INC." and its suppliers disclaim any responsibility arising out of or related to any access to intellectual property provided or furthered by use of the Software.

3. NO WARRANTY. ANY USE BY YOU OF THE SOFTWARE IS AT YOUR OWN RISK. THE SOFTWARE IS PROVIDED FOR USE "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, ["I-O DATA DEVICE, INC."] AND ITS SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES OF ANY KIND, EITHER EXPRESS, STATUTORY OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONNINFRINGEMENT. ["I-O DATA DEVICE, INC."] IS NOT OBLIGATED TO PROVIDE ANY UPDATES TO THE SOFTWARE.

4. LIMITATION OF LIABILITY. In no event shall ["I-O DATA DEVICE, INC."] or its suppliers be liable for any damages whatsoever (including, without limitation, direct, incidental, direct, indirect, special and consequential damages, damages for loss of business profits, business interruption, loss of business information, or other pecuniary loss) arising out of the use or inability to use this ["I-O DATA DEVICE, INC."] product, even if advised of the possibility of such damages. Because some states/countries do not allow the exclusion or limitation of liability for consequential or incidental damages, the above limitation may not apply to you.

5. GOVERNING LAW. This Agreement will not be governed by the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods, the application of which is hereby expressly excluded. If any part of this Agreement is found void and unenforceable, it will not affect the validity of the balance of the Agreement, which shall remain valid and enforceable according to its terms.

6. HIGH RISK ACTIVITIES. The Software is not fault-tolerant and is not designed, manufactured, or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the Software could lead directly to death, personal injury, or severe physical or environmental damage ("High Risk Activities"). “I-O DATA DEVICE, INC.“ specifically disclaims any express or implied warranty of fitness for High Risk Activities. You will not knowingly use the Software for High Risk Activities.

FSAV for Samba(体験版)のご利用にあたって

FTS-NASにはウイルススキャナ製品である「FSAV for Samba」の30日体験版が組み込まれています。体験版ライセンスの有効期間は、FTS-NAS上の「FSAV for Samba」メニューを起動してから30日間です。初回起動時には、ライセンスの確認画面が表示されますので、指示に従ってください。

●FSAV for Samba のサポートについて

「FSAV for Samba」の30日体験版につきましては、(株)アイ・オー・データ機器ならびに、日本ラッド(株)、日本エフセキュア(株)はサポートを行いません。継続利用ならびにサポートが必要な場合は、日本ラッド(株)より利用ライセンスを購入してください。

●ライセンスの購入方法について

ライセンスの追加購入はFTS-NAS上の「FSAV for Samba」メニューより、更新タブ画面にあるボタンからライセンス購入のための専用ページに移動できます。そのページ上の指示に従ってください。

●マニュアルについて

ライセンス追加購入時日本ラッドのホームページから、マニュアル（PDF）をダウンロードしてください。

●FSAV for Samba ライセンス約款

同封のソフトウェアは、お客様が本ライセンス約款の全条件を承諾する場合に限り、お客様にライセンスされます。同封のソフトウェアをインストールまたは使用することによりお客様は本約款を読み、これに拘束されることに同意することを承認することになります。本約款の全条件に同意されない場合には本ソフトウェアを使用または複製しないで下さい。

[ライセンス]

本FSAV for Sambaライセンス約款は、ユーザ(「お客様」または「ライセンシー」)が許諾を受ける、関連文書を含むあらゆるFSAV for Sambaプログラム(「本ソフトウェア」と総称します。）に適用されます。本ソフトウェアは、以下の条件に限定してお客様に使用許諾が与えられるものであり、販売されるのではありません。日本ラッドは、お客様に明示的に付与されていないあらゆる権利を留保します。日本ラッドは、本ソフトウェアの全コピー並びにリリースされる本ソフトウェアのアップデート及びアップグレードの所有権を保有します。日本ラッドは、電子フォーマットまたはCD-ROMのいずれかにより本ソフトウェアをお客様に提供します。

[法的権利等]
本ソフトウェアの権原、所有権及び知的財産権は日本ラッド及び/またはその供給業者に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法並びに著作権その他の知的財産権に関する国際条約により保護されています。

[限定保証及びその他の保証の放棄]

媒体に関する限定保証:
日本ラッドは、本ソフトウェアが記録されている媒体にマテリアル及び製作上の点で通常の使用において不具合がないことを、提供の日から30日間保証します。媒体に関する黙示の保証(商品性及び特定目的適合性の黙示の保証を含む)については、提供の日から30日間の期間に限定されています。日本ラッドは、自らの選択により、媒体については、交換したり購入代金を返還する責任を負いません。
ソフトウェアに関する保証の否認:
本件ソフトウェアは「現状のまま」提供され、一切の保証を伴いません。日本ラッドは所有権、非侵害、商品性及び特定目的適合性の黙示の保証を含むが、それらに限定されない一切の黙示の保証を明示的に否認します。日本ラッドは、本件ソフトウェアまたは関連文書を、正当性、正確性、信頼性その他の点について保証しません。本件ソフトウェア及び関連文書が生み出す結果及びパフォーマンスについての責任は、全てお客様が負担するものとします。
保証についての完全な記述:
上記の限定保証は、日本ラッドが本ソフトウェアについて提供する唯一の保証です。日本ラッドは、その販売店、特約店、代理店または従業員により与えられた口頭または書面による情報や助言は、保証を行ったことにはならず、いかなる意味においても前述の限定保証の範囲を拡大しないものとし、お客様はかかる情報や助言に依存することができません。

責任の限定:
日本ラッドまたはその供給業者は、いかなる場合においても、本ソフトウェアまたは関連文書の使用又は使用不能により発生する特別な、結果的、偶発的または間接的な損害(収益または利益の損失、データの紛失または破壊、その他の商業的または経済的損失を含むがこれらに限定されない)について責任を負うものではありません。かかる損害の可能性につき日本ラッドが既に知らされていた場合も同様とします。日本ラッドは、いかなる場合であろうと、本ソフトウェアの性能または性能不良により生じる損害について一切責任を負いません。いかなる原因であれ、実損害額に対するお客様への当社の責任は、お客様が本ソフトウェア購入に支払った金額が上限となります。本ライセンス約款におけるいかなる記載も、消費者として取引きを行う者の法律上の権利を損なうものではないものとします。

日本ラッドは、本項に定める義務、保証及び責任の放棄、否認及び/または限定を目的として、その従業員及びライセンサーまたは子会社に代わって行動しますが、その他の点やその他の目的でそのように行動するものではありません。

[ハイリスク活動]
本ソフトウェアは、無停止保証のあるものではなく、本ソフトウェアの機能不良により死亡、傷害または身体もしくは環境への深刻な損害を直接引き起こし得る活動(「ハイリスク活動」)である、核施設、航空機の運航又は通信システム、航空管制、直接的生命維持装置、武装システム等、フェイルセーフ性能が要求されるような危険な状況におけるオンライン制御装置として使用または再販されることを目的に設計、製造または企図されていません。日本ラッド及びその供給業者は、ハイリスク活動への適合性についての一切の明示的または黙示的な保証を明確に否認します。

[一般規定]
本ライセンス約款は将来通知があるまで有効です。ライセンスは、その条項や条件のいずれかにお客様が違反した場合、通知なく即刻解除されます。本ソフトウェアの評価版については、以下のいずれかが該当する場合にライセンスは自動的に解除されます。すなわち、
1)本書に記載の制限をお客様が遵守しなかった場合、2)本ソフトウェアを最初にインストールしてから30日後、または 3)割り当てられた評価期間の満了時点です。
本ライセンスの解除にあたり、お客様は、本ソフトウェア及びその全てのコピーを破棄することに同意するものとします。評価期間が満了する前にお客様が本ソフトウェアを購入し、その登録手続を行った場合、お客様は有効なライセンスを有しており、本ソフトウェアを破棄する必要はありません。お客様には、解除の結果として日本ラッドまたはその再販業者から代金の返還を受ける権利はありません。秘密保持及び使用制限に関する条項や条件は、解除後も効力を有し続けます。
日本ラッドは、本約款の条項を随時改訂することができ、改訂された条項は、同条項が付されて配付された本ソフトウェアの対応バージョンに自動的に適用されるものとします。
本ライセンス約款の一部が無効で執行不可能であると判断された場合、そのことにより本ライセンス約款の残りの部分の有効性は影響を受けず、その条件に従って有効かつ執行可能であり続けるものとします。本ライセンス約款は、日本ラッドによって書面をもってのみ変更することができるものとします。

本約款の条項は、日本ラッドが発行するか、日本ラッドとお客様の両者間または日本ラッドとお客様のライセンス提供者の両者間が合意するところの他の文書によって補足が可能です。
本約款の条項は、法律、規則や原則の抵触に関係なく、かつ国際動産売買契約に関する国連条約に関係なく、日本の法律に準拠するものとします。本ライセンス約款から発生する係争に対して司法判断を下す専属的裁判管轄権及び裁判籍は、日本の裁判所にあるものとします。

MEMO

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ファームウェア

【トラブル一覧】

状態	参照ページ
ランプが点灯しない	134
ブラウザでの設定画面が表示されない	134
パスワードを入力しても、設定画面が起動しない	134
パスワードを忘れてしまった	134
設定画面で文字が入力できない	135
起動しない	135
メールが送信できない	135
「入力内容が、既存の資格情報のセットと一致しませんでした。」というエラーがWindows上に表示される	135
システム停止できない	136
ブザーを停止したい	136

ランプが点灯しない

原因１	《[POWER]ランプが点灯しない場合》 ACケーブルを取り付けていない
対処	付属のACケーブルを取り付けてください。ACケーブルは必ず付属のものをご使用ください。ACケーブルを抜いた直後は、5秒以上待ってから取り付けてください。

ブラウザでの設定画面が表示されない

原因１	接続が正しくない
対処	接続が正しいことをご確認ください。
原因２	設定用パソコンのIPアドレスが自動取得になっていない。
対処	【IPアドレスを設定する】（23ページ）をご覧になり、IPアドレスの設定が正しいことをご確認ください。
原因３	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカにお問い合わせください。

パスワードを入力しても、設定画面が起動しない

原因	パスワードが間違っている。
対処	パスワードを変更した場合は、新しいパスワードを入力してください。（大/小文字もご確認ください。）パスワードを忘れてしまった場合は、【パスワードを忘れてしまった】（下記）をご覧ください。

パスワードを忘れてしまった

対処	【出荷時設定に戻す】（108ページ）で、出荷時設定に戻してください。パスワードは出荷時設定で“Admin”に設定されています。 また、その他の設定も初期化されますので、再設定してください。

設定画面で文字が入力できない

原因１	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。
原因２	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字（半角英数字）かを確認してから入力してください。

起動しない

原因１	USB機器が接続されていないか確認してください。
対処	USB機器を接続したまま誤って起動したときは、USB機器を取り外し、電源スイッチを5秒以上押して電源を切って、再度起動してください。

メールが送信できない

原因１	DNSが正しく設定されていない。
対処	DNSの設定を行ってください。

「入力内容が、既存の資格情報のセットと一致しませんでした。」というエラーがWindows上に表示される

原因１	これは、接続先コンピュータに対し、現在アクセスしようとしているユーザ名と異なるユーザ名で、接続先のコンピュータにすでに接続している事が原因です。
対処	Windows環境では、同一の接続先に対して複数のアカウントで同時に接続することはできません。異なるユーザ名でアクセスを行うには、すでに行っているネットワーク共有を切断して、一旦ログオフを行って、接続先コンピュータへの接続を解除してから再度接続を行ってください。 （次ページへつづく）

対処	共有フォルダを「ネットワークドライブの割り当て」を使ってドライブレターの割り当てを行っている場合、ログオン時に接続先のコンピュータへの接続が自動的に行われるため、ログオフを行っても症状が改善しないことがあります。その場合は、マイコンピュータからマウントされたドライブを選び、右クリックで「切断」を選んで接続を切ることができます。それでもうまくいかない場合は、コマンドプロンプトから 「net use * /delete」 コマンドを使って接続を強制的に解除することができます。 Windows XPをご利用の場合は、「ユーザの簡易切り替え」機能を使うと、現在のログオン環境をそのままにして、異なるユーザでログオンすることができます。この機能を使うと、同一の接続先コンピュータを同一のコンピュータから複数のユーザ名で利用することができます。 Windows NT/2000では、ドメインログオンを行なっている場合、同様のエラーが発生することがあります。対策方法などは「マイクロソフト サポート技術情報 - 197987」を参照してください。 http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;197987

システム停止できない

対処	電源スイッチを5秒以上押してください。強制的に停止します。

ブザーを停止したい

対処	RAID鍵でオフ・オンするとブザー音が停止します。 ハードディスク1台での運用は、データを失うおそれがありますのでおやめください。

用語解説

10BASE-T

ツイストペアケーブル（10BASE-T ケーブル）を使用した Ethernet の通信方式の一つで、最大伝送速度は 10Mbps です。

100BASE-TX

ツイストペアケーブル（100BASE-TX ケーブル）を使用した Ethernet の通信方式の一つで、最大伝送速度は 100Mbps です。

CSV *(Comma Separate Values)*

データをカンマ(",")で区切って並べたファイル形式。主に表計算ソフトやデータベースソフトがデータを保存するときに使う形式だが、
汎用性が高く、多くの電子手帳やワープロソフトなどでも利用できるため、異なる種類のアプリケーションソフト間のデータ交換に使われることも多い。
実体はテキストファイルであるため、テキストエディタやワープロなどで開いて直接編集することも可能です。

DHCP *(Dynamic Host Configuration Protocol)*

自動的にネットワークの設定を行うプロトコル（通信手順）のことです。
DHCP サーバはネットワークの DHCP クライアントに対して、自動的にネットワークの設定を行います。

DNS *(Domain Name System)*

TCP/IP ネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際の IP アドレスを関連付けるシステムです。

DNS サーバ

ネットワークのグループについた名前を問い合わせると、その IP アドレスを教えてくれるサーバのことです。DNS サーバを使用することにより、WWW ブラウザ等のアドレス入力欄でアドレスを文字で入力することができます。
（IP アドレスの数値を直接入力する必要が無くなります）

Ethernet

Xerox 社、DEC 社、Intel 社の 3 社が仕様を開発した LAN の通信方式で、10OBASE-TX、10BASE-T があります。

IP アドレス

TCP/IP プロトコル（インターネットで使用されている規約）を使用して構築されるネットワークで、接続されている全ての機器を区別するために付けられるアドレス（番地）のことです。

ISP *(Internet Service Provider)*

インターネット・サービス・プロバイダの略称です。(単にプロバイダと呼ばれることが多い)
企業や個人に対しインターネットへ接続する通信サービスを提供する回線業者のことです。

LAN *(Local Area Network)*

ローカル・エリア・ネットワークの略称です。小規模なコンピュータネットワークのことです。
LAN に対して WAN(Wide Area Network)があり、WAN は LAN 同士を結ぶ大規模なネットワーク（インターネット等）のことです。

MAC アドレス *(Media Access Control Address)*

Ethernet 機器ごとの固有の物理アドレスです。
MAC アドレスは、先頭からの３バイトのベンダーコードと残り３バイトのユーザコードの６バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器の製造メーカが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

POP *(Post Office Protocol)*

電子メールをスプールしているシステムから、TCP/IP プロトコルを使ってメールスプールの内容を読み出すためのプロトコルです。
プロトコル仕様は RFC1939 で定義されています。
POP3 サーバとは受信メールサーバのことを指します。

PDC *(Primary Domain Controller)*

Windows NT によって管理されるネットワーク（NT ドメイン）で、ユーザーやセキュリティに関する情報を管理し、ユーザー認証を行うサーバ。
１つの Windows NT ドメインには１台の PDC と、PDC 情報のコピーを保管する、任意の数の PDC が存在する。

SMTP *(Simple Mail Transfer Protocol)*

電子メールを送信するためのプロトコルです。
プロトコル仕様は RFC821 などで定義されています。
SMTP サーバとは送信メールサーバのことを指します。

TCP/IP *(Transmission Control Protocol / Internet Protocol)*

通信プロトコルの１つです。最も普及しているプロトコルで、インターネット上の通信にも使われています。

Telnet

遠隔地からほかのコンピュータにログインして、遠隔操作を行なう仮想端末プロトコルです。
プロトコル仕様は RFC854 で定義されています。
テキストベースの通信を行い、コマンドを送信する際にはエスケープコードを利用します。一般的には TCP/IP のポート番号 23 番を使用します。

UPS *(Uninterruptible Power Supply)*

電池や発電機を内蔵し、停電時でもしばらくの間パソコンなどに電気を供給する装置です。ユーザはこの間に安全にシステムを終了することができます。

WAN *(Wide Area Network)*

通常は LAN に対比して使用される言葉で、遠隔地にあるコンピュータ同士（LAN 同士）を、公衆回線網を使って接続したネットワークのことです。

WINS *(Windows Internet Name Service)*

Windows NT などで NetBIOS ネットワークと TCP/IP ネットワークを同時に運用しているとき、NetBIOS で使われているマシン名を TCP/IP ネットワーク上でも使えるようにする機能です。

クライアント

ネットワーク内で、サービスを受ける側のことです。

グローバル IP アドレス

インターネットを使うことを許された IP アドレスです。

ゲートウェイ

通信手順の異なるネットワーク同士を接続するための機器やシステムです。ゲートウェイに該当する機器の IP アドレス（ゲートウェイアドレス）をゲートウェイと呼ぶこともあります。

サーバ

ネットワーク内で、他のパソコン（クライアント）からの要求を受け、サービスを提供する側のコンピュータのことです。

サブネットマスク

LAN で使用可能なアドレスの範囲を決めるために、IP アドレスと組み合わせる値です。

セッション

TCP/IP プロトコルによるデータ処理の単位です。

ファイアウォール

組織内外からの通信すべてに対して、通過させたり、禁止したりすることによって、必要なサービスだけをユーザーに提供しつつ、セキュリティを確保します。名前の由来は「防火壁（firewall)」にちなんでいます。

ファームウェア

本製品内部で動作し、本製品のコントロールを行うプログラムです。

プライベート IP アドレス

組織内部のネットワークアドレスとして、自由に利用できる IP アドレス。
以下のものが利用できるとされています。

ClassA	:	10.0.0.0～10.255.255.255
ClassB	:	172.16.0.0～172.31.255.255
ClassC	:	192.168.0.0～192.168.255.255

仕様

●ハードウェア仕様

製品名		FTS-NASシリーズ		
製品型番		FTS-NAS160	FTS-NAS250	FTS-NAS300
内蔵HDD	容量	160GB x2	250GB x2	300GB x2
	回転数	5400/7200rpm		
LAN	転送規格	IEEE 802.3、IEEE802.3u(100BASE-TX/10BASE-T)		
	最大転送速度	100/10Mbps		
	コネクタ	RJ45×1		
	アクセス方法	CSMA/CD		
	適合ケーブル	UTPカテゴリ５以上、100m以下		
出荷時設定値	IPアドレス	192.168.0.200		
	サブネットマスク	255.255.255.0		
	ゲートウェイ	192.168.0.1		
USBホスト	転送規格	USB 1.1		
	最大転送速度	12Mbps		
	コネクタ	USB Aコネクタ×２（本体前後に各1ポート）		
電力	電源	AC 100V、50/60Hz		
	消費電力	43W(TYP)		
環境仕様	省エネ法区分	H		
	エネルギー消費効率	0.232	0.151	0.126
	グリーン購入法	適合		
動作環境	使用温湿度	5～35℃、20～80%(結露無きこと)		
物理仕様	外形寸法	W210×D307×H182mm(突起物含まず)		

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
ファームウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名
2．ご使用のパソコン本体の型番
3．ご使用のOSのバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部データについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。

（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）

※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●内部データについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。

（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）

※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

●本製品で使用するハードディスクを廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

・本製品で使用するハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

・情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

【ご注意】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
8) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

FTS-NASシリーズ 取扱説明書　　2004.11.02

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので

無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

●本製品で使用するハードディスクを廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

・本製品で使用するハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

・情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

【ご注意】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
8) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

FTS-NASシリーズ 取扱説明書　　2004.11.02
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。